

名古屋市観光客・宿泊客動向調査

（平成20年度）

平成21年 10月

名古屋市市民経済局

目 次

1. 観光統計について	1
(1) 全国観光統計基準の採用	1
(2) 入込客数	1
(3) 観光消費額	4
2. 調査の集計結果	6
2-1 観光客の現状	6
(1) 調査の概要	6
(2) 調査結果	8
2-2 宿泊客の現状	26
(1) 調査の概要	26
(2) 調査結果	27
2-3 宿泊施設調査	42
(1) 調査の概要	42
(2) 宿泊施設の現状	43
(3) 宿泊客数	45
3. 資料編	55
(1) 主要観光施設への入込動向	55
(2) 名古屋のまちの印象	59

巻末 調査票

注1：本文中で用いたテレビ塔、パノラマハウス、ブルーボネット、イタリア村、スカイプロムナードの正式名称は、それぞれ名古屋テレビ塔、JR セントラルタワーズパノラマハウス、名古屋港 ワイルドフラワーガーデンブルーボネット、名古屋港イタリア村、ミッドランドスクエア スカイプロムナードである。

注2：表、グラフに記してある居住地別のなどの数値にはその項目の「無回答」が除かれているため、その合計と全体の数値が一致しない場合がある。

1. 観光統計について

(1) 全国観光統計基準の採用

名古屋市では、交流人口の核をなす観光入込客数の把握の精度を高め、観光施策の企画立案に必要な基礎データを整備するため、愛・地球博開催を契機に平成 17 年度より、全国観光統計基準に準拠し、行・祭事、イベント、スポーツ、音楽・演劇等の都市観光を中心とする新たな観光地点を調査に加えた。

平成 20 年度については、全国観光統計基準に適合する 82 地点の観光入込客数を把握した。

(2) 入込客数

①観光入込客延べ人数

観光関連施設や行・祭事、イベント実施団体からの入込客数の回答により、観光入込客延べ人数を算出した。平成 20 年度の名古屋市内の観光入込客延べ人数は約 5,248 万人であり、平成 19 年度と比較して 369 万人減少（対前年度比率 93.4%）した。

主な減少の理由は、平成 19 年度に入場者が増加した反動や、平成 20 年 5 月に「イタリア村」が閉村し、それが名古屋港近辺の観光地点にも影響を与えたことなどである。

表 1-1-1 観光地点の分類別入込客数の推移

（上段（ ）内：調査地点数、下段：入込客延べ人数）

全国観光統計基準に基づく分類		平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
大分類	中分類				
学ぶ（見る・体験する）	自然				
	文化・歴史	(26) 19,577,602	(25) 19,246,422	(25) 21,075,363	(25) 20,510,622
	産業観光	(6) 1,821,014	(7) 2,003,055	(6) 1,917,028	(5) 1,615,170
遊ぶ（楽しむ・リフレッシュする）	スポーツ・レクリエーション施設	(17) 14,834,016	(17) 12,955,647	(17) 12,300,363	(18) 11,231,946
	温泉				
	買物				
触れ合う（交流する）	行・祭事	(12) 7,477,495	(14) 7,428,814	(14) 7,880,964	(15) 7,772,812
	イベント	(24) 14,967,916	(22) 11,538,634	(22) 12,996,629	(19) 11,345,439
計		(85) 58,678,043	(85) 53,172,572	(84) 56,170,347	(82) 52,475,989

注：調査した観光地点数は、年度によって変動します。

◆調査対象観光地点の選定について

名古屋市では、平成 8 年 3 月に社団法人日本観光協会が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象観光地点を選定している。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が 5 万人以上かつ、市外の観光入込客数が 2 割以上見込まれる市内観光地点を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間 5 万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

②観光入込客実人数の推計

観光客の現状調査の回答により、平均訪問観光地点数を設定し、観光入込客実人数を推計した。平成 20 年度の観光入込客実人数は 3,200 万人であり、平成 19 年度と比較して 104 万人減少（対前年度比率 96.8%）した。

表 1-1-2 観光入込客 延べ人数と実人数の推移

	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
観光入込客延べ人数（人）	58,678,043	53,172,572	56,170,347	52,475,989
平均訪問観光地点数	1.67	1.73	1.70	1.64
観光入込客実人数（万人）	3,514 万人	3,074 万人	3,304 万人	3,200 万人

③居住地別観光入込客数の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の観光入込客実人数を推計した。

表 1-1-3 居住地別観光入込客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
観光入込客の居住地割合	100%	35.7%	64.3%
観光入込客実人数	3,200 万人	1,142 万人	2,058 万人

④宿泊客実人数の推計

宿泊施設の現状調査の回答により、宿泊施設の延べ宿泊客数、宿泊客実人数、宿泊客平均宿泊日数を推定した。

表 1-1-4 宿泊施設の宿泊客数 延べ人数と実人数の推移

	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
延べ宿泊客数（人）	7,135,833	6,288,947	6,384,202	6,238,020
宿泊客実人数（人）	4,472,967	4,752,837	4,845,349	4,719,502
宿泊客平均宿泊日数（日泊）	1.60	1.32	1.32	1.32

⑤居住地別宿泊客実人数の推計

宿泊客の現状調査の回答により、宿泊客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の宿泊客実人数を推計した。

表 1-1-5 居住地別宿泊客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
宿泊客の居住地割合	100%	7.6%	92.4%
宿泊客実人数	472 万人	36 万人	436 万人

⑥居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

観光入込客実人数から宿泊客実人数を差し引いて、日帰り客実人数を推定した。

観光入込客実人数を居住地別にみると、平成 20 年度の名古屋市内客は 1,142 万人であり、平成 19 年度と比較して 100 万人減少し、名古屋市外客は 2,058 万人であり、平成 19 年度と比較して 4 万人減少した。

また、平成 20 年度の宿泊客実人数は 472 万人であり、平成 19 年度と比較して 13 万人減少し、平成 20 年度の日帰り客実人数は 2,728 万人であり、平成 19 年度と比較して 91 万人減少した。

表 1-1-6 居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
観光入込客実人数 計	3,074 万人	3,304 万人	3,200 万人
名古屋市内	1,030 万人	1,242 万人	1,142 万人
名古屋市外	2,044 万人	2,062 万人	2,058 万人
宿泊客実人数 計	475 万人	485 万人	472 万人
名古屋市内	27 万人	38 万人	36 万人
名古屋市外	448 万人	447 万人	436 万人
日帰り客実人数 計	2,599 万人	2,819 万人	2,728 万人
名古屋市内	1,003 万人	1,204 万人	1,106 万人
名古屋市外	1,596 万人	1,615 万人	1,622 万人

(3) 観光消費額

①観光総消費額の推移

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での消費額を宿泊客と名古屋市内・市外別日帰り客に設定し、観光総消費額を推計した。平成 20 年度の名古屋市内の観光総消費額は 2,511 億円であり、平成 19 年度と比較して 105 億円減少している。

宿泊客の総消費額は 970 億円と昨年度と比較して 100 億円減少し、世界的な不況による影響が感じられる。

日帰り客の総消費額について居住地別にみると、名古屋市内、市外とも昨年度とほぼ横ばいとなっている。

表 1-2-1 観光総消費額の推移（推計値）

	居住地	平成 19 年度	平成 20 年度
宿泊客実人数		485 万人	472 万人
日帰り客実人数	名古屋市内客	1,204 万人	1,106 万人
	名古屋市外客	1,615 万人	1,622 万人
宿泊客一人あたり消費額		22,188 円	20,559 円
日帰り客一人あたり消費額	名古屋市内客	3,645 円	4,012 円
	名古屋市外客	6,854 円	6,761 円
宿泊客総消費額		1,070 億円	970 億円
日帰り客総消費額	名古屋市内客	439 億円	444 億円
	名古屋市外客	1,107 億円	1,097 億円
名古屋市内観光総消費額		2,616 億円	2,511 億円

②観光消費額の内訳の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での各項目別の平均消費額を宿泊客と名古屋市内・市外別日帰り客に設定し、名古屋市内での旅行費用項目別の消費額を推計した。

その他消費額は、総消費額から各項目別の消費額を差し引いた金額である。

食事費、交通費、土産費、宿泊費は昨年度に比べ、それぞれ数十億円減少している。

表 1-2-2 観光消費額の内訳の推移

	平成 19 年度	平成 20 年度
食事費消費額	854 億円	791 億円
交通費消費額	374 億円	332 億円
土産費消費額	531 億円	486 億円
宿泊費消費額	550 億円	487 億円
その他消費額	307 億円	415 億円
総消費額	2,616 億円	2,511 億円

表 1-2-3 観光客一人あたりの平均消費額

	宿泊客	日帰り客	
		名古屋市内客	名古屋市外客
食事費	7,287 円	1,306 円	1,867 円
交通費	2,070 円	439 円	1,139 円
土産費	4,632 円	440 円	1,343 円
宿泊費	10,316 円		

表 1-2-4 旅行費用項目別総消費額の推計

	宿泊客	日帰り客		観光客計
		名古屋市内客	名古屋市外客	
食事費総消費額	344 億円	144 億円	303 億円	791 億円
交通費総消費額	98 億円	49 億円	185 億円	332 億円
土産費総消費額	219 億円	49 億円	218 億円	486 億円
宿泊費総消費額	487 億円			487 億円

2. 調査の集計結果

2-1 観光客の現状

(1) 調査の概要

①調査の目的

市内主要観光地点における観光客の入込・遊覧状況等を把握するためアンケート調査を実施した。

②調査日時等

●観光施設（名古屋城、熱田神宮、ノリタケの森、シートレインランド）調査

・秋期調査：平成20年11月5日（水）9：30～16：30 天候：晴後一時薄曇

11月8日（土）9：30～16：30 天候：雨後時々曇

11月9日（日）9：30～16：30 天候：曇

※熱田神宮、ノリタケの森は11月22日（土）9：30～16：30 天候：晴後一時薄曇

・春期調査：平成21年3月4日（水）9：30～16：30 天候：曇

3月7日（土）9：30～16：30 天候：晴後薄曇

3月8日（日）9：30～16：30 天候：曇一時晴

●名古屋まつり調査：平成20年10月12日（日）11：00～16：30 天候：曇一時晴

●イベント会場（ポートメッセなごや）調査

・マンモスフリーマーケット：

平成20年11月16日（日）10：00～16：30 天候：曇一時晴

・ナゴヤオートトレンド2009：

平成21年3月7日（土）10：00～16：30 天候：晴後薄曇

③調査方法

それぞれの調査地点を訪れた観光入込客のうち、10歳以上と思われる観光入込客に対して、等間隔無作為抽出法により調査対象を抽出し、対面聞き取りにより年齢を確認した上で調査を行った。

④調査場所及び調査サンプル数

観光地点を全国観光統計基準に基づく分類（注）や施設・催し物の特性、所在地を勘案して、以下の地点で調査を実施した。

観光地点名称	秋期調査（11月）			春期調査（3月）			合 計
	平日	土曜	日曜	平日	土曜	日曜	
名古屋城	105	107	104	102	102	103	623
熱田神宮	104	105	105	102	105	108	629
ノリタケの森	106	103	104	105	106	104	628
シートレインランド	105	105	104	70	126	116	626
名古屋まつり	611						611
イベント会場	(マンモスフリーマーケット)			328			636
(ポートメッセなごや)	(ナゴヤオートトレンド2009)			308			
全 体							3,753

（注）大分類「学ぶ（見る・体験する）」・中分類「文化・歴史」として「名古屋城」と「熱田神宮」、同・中分類「産業観光」として「ノリタケの森」、大分類「遊ぶ（楽しむ・リフレッシュする）」・中分類「スポーツ・レクリエーション施設」として「シートレインランド」、大分類「触れ合う（交流する）」・中分類「行・祭事」として「名古屋まつり」、同・中分類「イベント」として「ポートメッセなごや」に協力していただきました。

(2) 調査結果

①居住地構成、性・年齢構成

a. 居住地構成

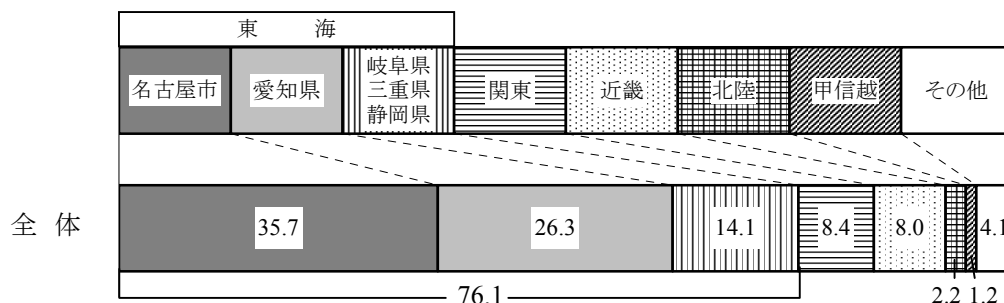
観光入込客の居住地は、全体では「名古屋市」が35.7%と最も多く、次いで「愛知県（名古屋市を除く）」（26.3%）で、「岐阜県」（5.7%）、「三重県」（5.4%）、「静岡県」（3.0%）を合計した「東海」が76.1%を占め、「関東」（8.4%）、「近畿」（8.0%）など「東海以外」の地域からの入込客は全体で23.9%である。

観光地点別にみると、「名古屋まつり」（61.3%）、「熱田神宮」（51.2%）の入込客では「名古屋市」居住者の構成比が高く、また、「イベント会場」（95.5%）、「名古屋まつり」（91.9%）、「シートレインランド」（89.2%）の入込客では大半が「東海」居住となっている。一方、「名古屋城」では「東海以外」の地域が65.0%と広域的に集客している。

表 2-1-1 入込客の居住地構成（観光地点別）

（単位：％）

地 域	東 海	名 古 屋 市	愛 知 県 (名古屋市を除く)	岐 阜 県・三 重 県・静 岡 県	関 東	近 畿	北 陸	甲 信 越	そ の 他	合 計
観光地点										
名古屋城	35.0	13.3	13.2	8.5	28.2	16.0	4.7	3.4	12.7	100.0
熱田神宮	83.3	51.2	26.4	5.7	6.0	4.9	2.1	1.0	2.7	100.0
ノリタケの森	61.0	25.6	23.9	11.5	11.3	17.7	2.5	1.3	6.2	100.0
シートレインランド	89.2	35.9	31.4	21.9	0.8	5.0	3.2	0.5	1.3	100.0
名古屋まつり	91.9	61.3	23.7	6.9	3.3	2.5	0.2	0.3	1.8	100.0
イベント会場	95.5	27.2	38.6	29.7	0.9	2.2	0.8	0.6	0.0	100.0
全 体	76.1	35.7	26.3	14.1	8.4	8.0	2.2	1.2	4.1	100.0



注：愛知県は名古屋市を除く

東 海—愛知県・岐阜県・三重県・静岡県

関 東—東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・群馬県・栃木県・茨城県

近 畿—滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県

北 陸—福井県・石川県・富山県

甲信越—新潟県・長野県・山梨県

図 2-1-1 入込客の居住地構成

b. 性・年齢構成

全体では「30～39 歳」(21.8%)と「20～29 歳」(21.2%)が多く、「50～59 歳」(15.8%)、「40～49 歳」(14.4%)、「60～69 歳」(13.9%)が14～16%で続き、以下「70 歳以上」(7.0%)、「10～19 歳」(5.9%)となっている。

性別は、男性が47.3%、女性が52.7%と、女性の方が男性より若干多い。

男性では「30～39 歳」がピークとなっている。女性では「20～29 歳」「30～39 歳」が多く、次いで「50～59 歳」である。

観光地点別に見ると、「20～29 歳」「30～39 歳」という若い世代の割合が高いのは「シートレインランド」(65.1%)と「イベント会場」(60.7%)である。一方、「60 歳以上」の割合は「名古屋城」(33.2%)と「熱田神宮」(28.8%)では3割前後となっている。

性別の割合は、「熱田神宮」と「シートレインランド」では男性女性ほぼ半々で、「ノリタケの森」と「名古屋まつり」、「名古屋城」では女性の方が多く、「イベント会場」では男性の方が多い。

表 2-1-2 入込客の地点別性・年齢構成

(単位：%)

性別	年 齢	10～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上	合 計
	観光地点								
全 体	名古屋城	6.1	27.8	10.0	8.0	14.9	21.8	11.4	100.0
	熱田神宮	1.1	14.0	20.2	15.1	20.8	17.8	11.0	100.0
	ノリタケの森	5.4	16.9	13.9	13.4	25.1	19.9	5.4	100.0
	シートレインランド	10.1	30.2	34.9	11.5	6.2	5.0	2.1	100.0
	名古屋まつり	3.9	8.0	20.6	20.8	20.6	14.6	11.5	100.0
	イベント会場	8.6	29.9	30.8	17.5	7.5	4.6	1.1	100.0
	合 計	5.9	21.2	21.8	14.4	15.8	13.9	7.0	100.0
男 性	名古屋城	4.6	31.6	12.4	7.8	10.6	20.6	12.4	45.3
	熱田神宮	1.7	13.1	20.8	16.8	17.8	15.7	14.1	47.4
	ノリタケの森	2.3	16.6	14.7	12.0	22.1	24.0	8.3	34.6
	シートレインランド	5.7	30.3	38.7	14.1	5.4	3.4	2.4	47.4
	名古屋まつり	2.9	9.2	14.3	20.9	22.3	16.5	13.9	44.7
	イベント会場	6.8	28.8	32.0	19.0	8.3	4.1	1.0	64.5
	合 計	4.3	22.3	23.3	15.5	13.6	12.9	8.1	47.3
女 性	名古屋城	7.3	24.6	7.9	8.2	18.5	22.9	10.6	54.7
	熱田神宮	0.6	14.8	19.6	13.6	23.6	19.6	8.2	52.6
	ノリタケの森	7.1	17.0	13.4	14.1	26.7	17.8	3.9	65.4
	シートレインランド	14.0	30.1	31.6	9.1	7.0	6.4	1.8	52.6
	名古屋まつり	4.7	7.1	25.8	20.7	19.2	13.0	9.5	55.3
	イベント会場	11.9	31.9	28.8	14.6	6.2	5.3	1.3	35.5
	合 計	7.3	20.1	20.4	13.4	17.9	14.8	6.1	52.7

注：男性・女性別の合計の列は、性別の構成比率である。

②旅行の内容

a. 今回の主な目的

旅行の主な目的は、「観光施設の見学」(40.7%)と「イベント」(34.5%)が多い。次いで「ショッピング」(3.3%)となっており、これらをはじめとする「観光・娯楽」目的者の割合は合わせて82.8%を占めている。

時系列にみると、調査概要は平成18年度から変更しているものの、「観光・娯楽」の割合は8割台で推移している。

観光地点別にみると、「シートレインランド」(84.0%)、「名古屋城」(56.3%)、「ノリタケの森」(53.9%)、「熱田神宮」(43.7%)の入込客では「観光施設の見学」目的が多く、「イベント会場」(97.9%)と「名古屋まつり」(82.4%)の入込客では大半が「イベント」目的である。また、「ショッピング」目的の割合は、「ノリタケの森」(10.7%)では相対的に高く、「熱田神宮」では「七五三」を主とした「その他」(43.7%)目的の割合も高い。

(%)

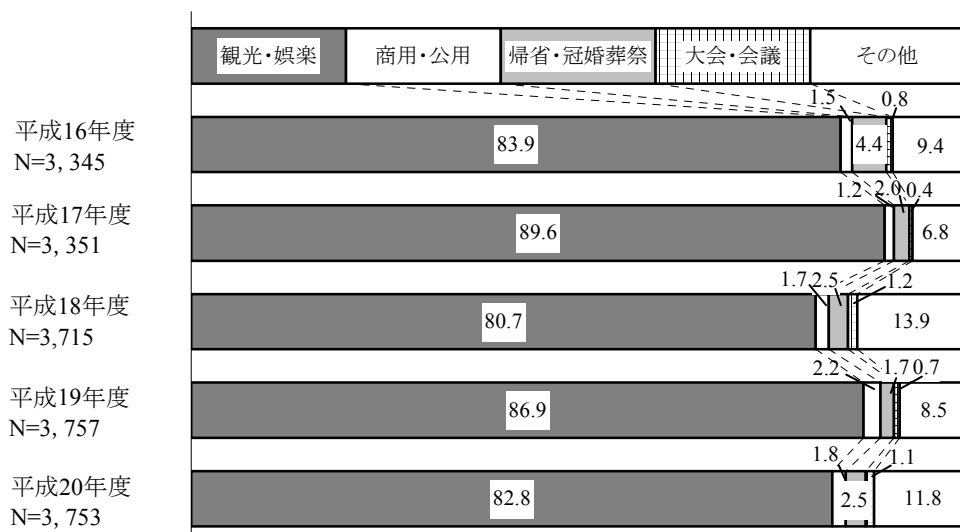


図 2-1-2 入込客の主な旅行目的と構成比の推移

表 2-1-3 入込客の主な旅行目的（観光地点別）

(単位：%)

旅行目的 観光地点	観光・娯楽						商用・公用	帰省・冠婚葬祭	大会・会議に参加	その他	合計
	観光施設の見学	ショッピング	観劇・コンサート	イベント	飲食	その他の娯楽行為					
名古屋城	56.3	1.3	2.6	15.4	4.2	1.1	2.2	6.1	2.9	7.9	100.0
熱田神宮	43.7	1.3	1.1	1.6	1.9	2.4	2.2	1.6	0.5	43.7	100.0
ノリタケの森	53.9	10.7	2.4	6.4	3.5	1.4	3.7	2.7	1.9	13.4	100.0
シートレインランド	84.0	1.6	0.2	3.8	1.4	2.9	1.0	1.6	1.1	2.4	100.0
名古屋まつり	5.6	3.8	0.0	82.4	0.7	0.3	1.5	3.1	0.2	2.4	100.0
イベント会場	0.3	1.1	0.0	97.9	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.5	100.0
全 体	40.7	3.3	1.0	34.5	1.9	1.4	1.8	2.5	1.1	11.8	100.0

b. 名古屋を選んだきっかけ

「観光・娯楽」目的で来訪した方（全体の82.8%）の目的地として名古屋を選んだきっかけは、「前に来たことがあり良かったから」が33.6%と最も多い。以下、「友人・知人に薦められた」（17.7%）、「雑誌・新聞をみて」（14.7%）、「特になし」（12.3%）、「テレビやラジオ番組の情報」（11.4%）、「インターネットホームページの情報」（8.0%）となっている。

観光地点別にみると、「前に来たことがあり良かったから」は「シートレインランド」と「熱田神宮」では過半数となっている。「ノリタケの森」と「名古屋城」では「友人・知人に薦められた」が、「イベント会場」では「テレビやラジオ番組の情報」が最も多い。

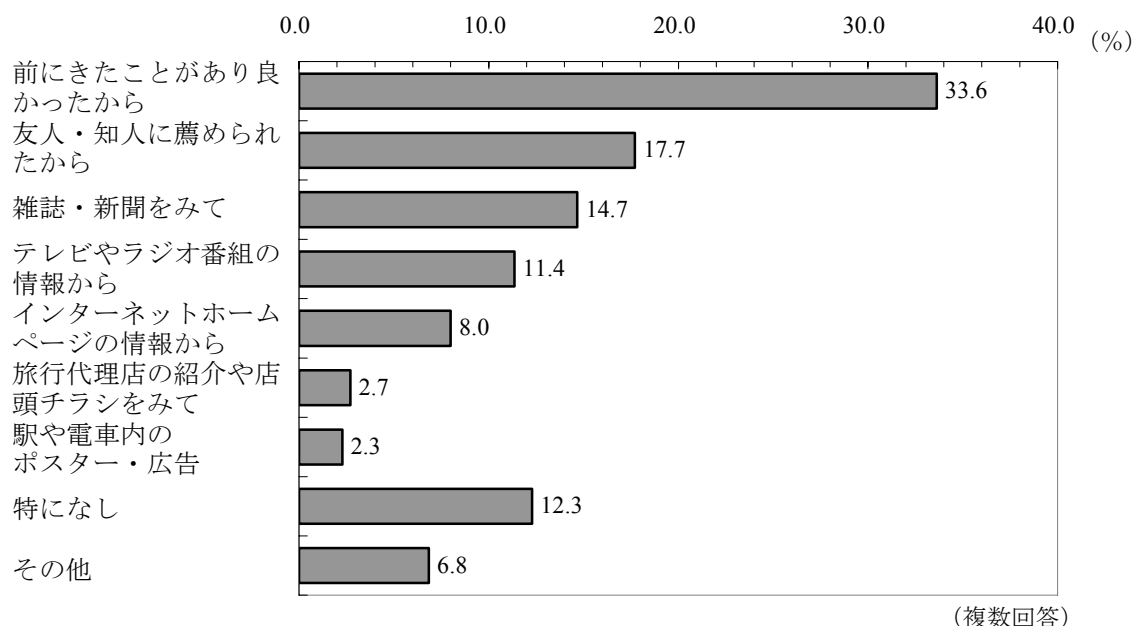


図 2-1-3 入込客の名古屋を選んだきっかけの内訳

表 2-1-4 入込客の名古屋を選んだきっかけの内訳（観光地点別）

(単位：%)

観光地点 \ きっかけ	前に来たことがあり良かったから	友人・知人に薦められたから	雑誌・新聞をみて	テレビやラジオ番組の情報から	インターネットホームページの情報から	旅行代理店の紹介や店頭チラシをみて	駅や電車内のポスター・広告	特になし	その他	合計
名古屋城	19.7	23.3	15.9	9.8	7.2	6.2	3.0	13.9	12.4	111.4
熱田神宮	52.6	9.8	3.1	2.8	4.0	2.8	1.8	20.9	5.8	103.6
ノリタケの森	22.0	28.2	14.1	5.1	6.3	5.5	0.6	12.9	9.2	103.9
シートレインランド	56.9	12.8	4.4	2.4	3.7	0.5	0.2	19.8	2.2	102.9
名古屋まつり	35.3	10.9	22.6	18.2	7.1	0.4	7.1	9.9	10.6	122.1
イベント会場	20.8	19.8	22.5	24.1	16.8	1.9	1.0	1.3	2.1	110.3
全 体	33.6	17.7	14.7	11.4	8.0	2.7	2.3	12.3	6.8	109.5

(複数回答)

c. 観光施設への遊覧状況

観光地点相互の立ち寄り状況をみると、「名古屋まつり」、「ノリタケの森」の入込客は「名古屋城」にも、「名古屋城」の入込客は「熱田神宮」にも訪れる人が多い。

観光地点ごとに他の観光施設への訪問状況をみると、上記のほか「名古屋城」の入込客は「テレビ塔」や「徳川美術館」、「徳川園」にも訪れる人が多く、一人あたりの訪問施設数は1.78施設とまあ多い。「熱田神宮」の入込客では「名古屋城」が7.6%と最も多いものの一人あたりの訪問施設数は1.29と他の観光施設に比べて立ち寄りには少ない。「ノリタケの森」の入込客は「徳川園」や「徳川美術館」、「産業技術記念館」にも訪れる人が多く、一人あたりの訪問施設数は1.85施設と多い。「シートレインランド」の入込客では8割以上が「名古屋港水族館」にも訪れており、一人あたりの訪問施設数は2.08施設と他の施設への立ち寄りは最も多い。「名古屋まつり」の入込客では、「ランの館」や「テレビ塔」にも訪れる人が多く、一人あたりの訪問施設数は1.73施設であるが、「イベント会場」の入込客では一人あたりの訪問施設数は1.09施設となっており、他の観光施設へも立ち寄る入込客は少ない。

全般に調査場所の近隣にある観光施設にも立ち寄っているケースが多い。

表 2-1-5 他の観光施設への遊覧状況（観光地点別）

（単位：％）

訪問施設 観光地点	名古屋城	産業技術記念館	ノリタケの森	徳川美術館	徳川園	熱田神宮	白鳥庭園	東山動植物園	東山スカイタワー	テレビ塔	名古屋市美術館	愛知県美術館
名古屋城		4.2	6.3	9.5	8.3	14.0	0.3	2.7	1.3	12.5	0.5	0.3
熱田神宮	7.6	0.3	1.0	1.6	1.4		1.7	0.5	0.0	2.5	0.0	0.2
ノリタケの森	20.7	7.3		7.6	9.9	5.3	0.5	2.2	0.2	6.5	0.3	2.1
シートレインランド	2.9	0.3	0.6	0.2	0.2	1.6	0.5	1.9	1.3	1.6	0.2	0.0
名古屋まつり	26.2	0.2	0.8	2.1	2.9	2.1	1.3	2.5	1.1	6.7	0.8	0.5
イベント会場	0.5	0.3	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.5	0.0	0.0

訪問施設 観光地点	名古屋ポストン美術館	名古屋市科学館	でんきの科学館	名古屋市博物館	ランの館	名古屋港水族館	名古屋港	シートレインランド	有松・鳴海絞会館	その他	平均訪問施設数
名古屋城	0.8	1.0	0.5	1.1	1.4	4.5	2.2	0.3	0.0	6.6	1.78
熱田神宮	0.2	0.2	0.0	0.5	0.2	1.1	1.0	0.0	0.2	8.9	1.29
ノリタケの森	1.0	0.5	0.6	2.1	0.6	0.8	0.8	0.0	0.6	15.4	1.85
シートレインランド	0.0	0.6	0.2	0.5	0.8	81.6	9.7		0.0	3.4	2.08
名古屋まつり	0.2	0.7	0.8	0.0	7.5	1.5	0.3	0.2	0.0	14.2	1.73
イベント会場	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0	2.7	0.5	0.0	0.2	3.9	1.09

（複数回答）

※一人あたりの平均訪問施設数

平均訪問施設数は、各観光地点での調査サンプル数（a）とその観光地点・施設以外へ訪れた数及び訪れる予定数（b）の合計を調査サンプル数（a）で除した数値。

$$\text{平均訪問施設数} : 1.64 = \{3,753 (a) + 2,384 (b)\} \div 3,753 (a)$$

d. 旅行形態

全体では、「友人・知人」が 29.8%、「幼児・小学生連れ」（20.1%）や「夫婦」（15.7%）など「家族連れ」が合計で 51.3%、「ひとり」が 15.2%となっている。

観光地点別にみると、「名古屋城」、「ノリタケの森」、「イベント会場」の入込客は「友人・知人」の、「熱田神宮」の入込客は「ひとり」の、「イベント会場」の入込客は「幼児・小学生連れの家族」の割合が最も多く、「名古屋まつり」は比較的割合は分散している。

表 2-1-6 入込客の旅行形態（観光地点別）

（単位：％）

観光地点	旅行形態	ひとり	友人・知人	家族連れ			団体		その他	合計
				幼児・小学生連れ	夫婦	その他	一般	学生		
名古屋城		8.8	41.9	2.9	20.2	20.1	5.6	0.0	0.5	100.0
熱田神宮		29.7	16.7	21.5	15.9	13.4	2.5	0.0	0.3	100.0
ノリタケの森		14.3	32.5	6.7	19.3	16.2	10.2	0.0	0.8	100.0
シートレインランド		2.7	34.4	45.6	5.4	10.5	1.1	0.0	0.3	100.0
名古屋まつり		21.7	15.4	20.0	23.4	19.3	0.0	0.0	0.2	100.0
イベント会場		13.8	37.7	24.1	10.2	14.0	0.0	0.0	0.2	100.0
全 体		15.2	29.8	20.1	15.7	15.5	3.3	0.0	0.4	100.0

パッケージ旅行の割合は、全体では4.1%である。

観光地点別にみると、「ノリタケの森」の入込客では「パッケージ旅行」(11.0%)の割合が相対的に多い。一方、「シートレインランド」と「名古屋まつり」、「イベント会場」の入込客ではほとんどが「パッケージ旅行ではない」である。

地域別にみると、パッケージ旅行を利用する割合は、「その他」(18.8%)や「近畿」(16.6%)、「北陸」(15.5%)からの入込客では比較的多く、「関東」と「甲信越」からの入込客でも1割以上が利用している。

表 2-1-7 入込客のパッケージ旅行利用有無（地点・地域別）

(単位：%)

観光地点・地域		旅行形態	パッケージ旅行	パッケージ旅行ではない	合 計
観 光 地 点	名古屋城		7.7	92.3	100.0
	熱田神宮		3.7	96.3	100.0
	ノリタケの森		11.0	89.0	100.0
	シートレインランド		1.4	98.6	100.0
	名古屋まつり		0.5	99.5	100.0
	イベント会場		0.0	100.0	100.0
地 域	東 海		0.6	99.4	100.0
	名古屋市		0.2	99.8	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）		0.4	99.6	100.0
	岐阜県・三重県・静岡県		2.1	97.9	100.0
	関 東		11.7	88.3	100.0
	近 畿		16.6	83.4	100.0
	北 陸		15.5	84.5	100.0
	甲信越		11.4	88.6	100.0
	その他		18.8	81.2	100.0
	全 体		4.1	95.9	100.0

③旅行費用

a. 旅行予算

旅行予算をみると、全体では「5,000 円未満」が 49.9%と最も多く、次いで「5,000～10,000 円未満」(21.2%)、「10,000～30,000 円未満」(17.4%)となっている。旅行予算の平均額は 12,423 円である。昨年度 (11,988 円) と比較すると 435 円の増額となっている。

観光地点別にみると、「名古屋城」の入込客では「10,000 円以上」の割合が合わせて 64.2%と多く、平均額は 20,000 円を超えている。一方、「名古屋まつり」と「シートレインランド」の入込客では「10,000 円未満」が 9 割弱を占める。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市外からの宿泊客」では「10,000～30,000 円未満」が最も多く、かつ「30,000 円以上」が半数以上で、平均額は 36,179 円と高額である。一方、「名古屋市内」では宿泊・日帰りとも「5,000 円未満」が 8 割弱を占め、平均額は 4,000 円前後となっている。

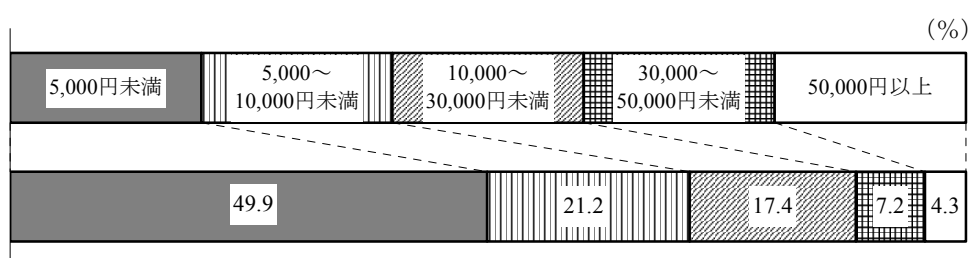


図 2-1-4 入込客の旅行予算

表 2-1-8 入込客の旅行予算(地点・地域×宿泊別)

(単位: %)

旅行予算		5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～30,000円未満	30,000～50,000円未満	50,000円以上	合 計	平均額 (円)
地点・地域×宿泊								
観光地点	名古屋城	22.8	13.0	34.7	18.2	11.3	100.0	24,200
	熱田神宮	59.0	20.6	10.4	5.8	4.2	100.0	10,515
	ノリタケの森	36.7	19.0	24.3	12.8	7.2	100.0	17,704
	シートレインランド	63.6	22.1	11.7	1.6	1.0	100.0	6,951
	名古屋まつり	72.8	15.6	7.3	3.0	1.3	100.0	6,651
	イベント会場	45.2	36.3	16.0	1.6	0.9	100.0	8,389
地域×宿泊	名古屋市内	78.8	16.5	4.0	0.5	0.2	100.0	4,303
	宿泊客	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	100.0	3,750
	日帰り客	78.8	16.5	4.0	0.5	0.2	100.0	4,305
	名古屋市外	33.9	23.8	24.8	10.9	6.6	100.0	16,903
	宿泊客	2.2	5.2	40.3	32.9	19.4	100.0	36,179
	日帰り客	45.1	30.4	19.4	3.0	2.1	100.0	10,062
全 体		49.9	21.2	17.4	7.2	4.3	100.0	12,423

注: 平均額の計算式: $\{(2,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000 円未満」の回答者数}) + (7,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000～10,000 円未満」の回答者数}) + (20,000 \text{ 円}) \times (\text{「10,000～30,000 円未満」の回答者数}) + (40,000 \text{ 円}) \times (\text{「30,000～50,000 円未満」の回答者数}) + (75,000 \text{ 円}) \times (\text{「50,000 円以上」の回答者数})\} / (\text{全回答者数})$

b. 名古屋市内消費額

観光入込客が名古屋市内で使う金額を具体的に尋ねたところ、全体では「5,000 円未満」が 41.0%と最も多く、次いで「5,000～10,000 円未満」が 28.7%、「10,000～20,000 円未満」が 17.9%、「20,000～30,000 円未満」が 6.7%、「30,000 円以上」が 5.7%となっている。名古屋市内消費額の平均額は 8,170 円である。昨年度（8,391 円）と比較すると 221 円の減額となっている。

観光地点別にみると、平均額は、「名古屋城」の入込客では 13,108 円、「ノリタケの森」の入込客では 10,250 円と比較的高額である。一方、「熱田神宮」（5,655 円）と「名古屋まつり」（5,804 円）の入込客では相対的に低額となっている。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市外からの宿泊客」では過半数が「20,000 円以上」で、平均額は 20,667 円と高額となっている。一方、「名古屋市内」では 6 割以上が「5,000 円未満」である。

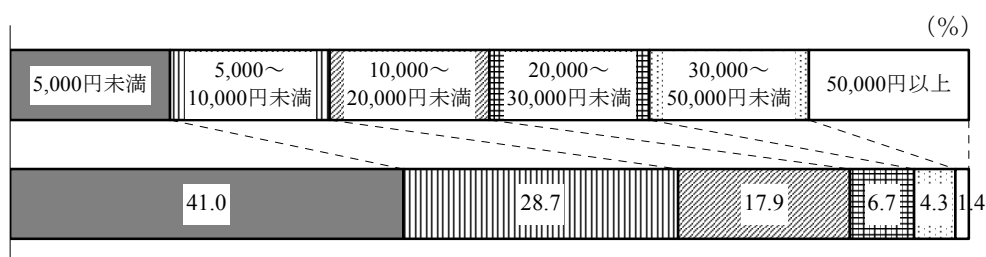


図 2-1-5 入込客の名古屋市内消費額

表 2-1-9 入込客の名古屋市内消費額（地点・地域×宿泊別）

（単位：％）

市内消費額		5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～20,000円未満	20,000～30,000円未満	30,000～50,000円未満	50,000円以上	合 計	平均額（円）
地点・地域×宿泊									
観光地点	名古屋城	22.2	18.0	31.3	17.3	8.3	2.9	100.0	13,108
	熱田神宮	58.6	21.9	11.9	3.7	3.7	0.2	100.0	5,655
	ノリタケの森	33.6	26.1	21.9	9.4	6.3	2.7	100.0	10,250
	シートレインランド	36.6	43.8	14.3	2.6	2.0	0.7	100.0	6,314
	名古屋まつり	61.5	25.9	6.7	2.0	3.0	0.9	100.0	5,804
	イベント会場	35.9	36.3	19.9	4.8	2.1	1.0	100.0	7,612
地域×宿泊	名古屋市	63.7	27.3	7.5	0.9	0.4	0.2	100.0	4,011
	宿泊客	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	3,750
	日帰り客	63.7	27.2	7.6	0.9	0.4	0.2	100.0	4,012
	名古屋市外	28.7	29.6	23.5	9.9	6.3	2.0	100.0	10,424
	宿泊客	3.9	8.4	35.9	27.3	17.9	6.6	100.0	20,667
	日帰り客	37.6	37.1	19.1	3.6	2.2	0.4	100.0	6,761
全 体		41.0	28.7	17.9	6.7	4.3	1.4	100.0	8,170

c. 市内交通費

名古屋市内の移動や駐車などで支出する交通費は、全体では「1,000 円未満」が 54.5%と最も多く、次いで、「1,000～3,000 円未満」が 21.3%、「交通費はかからない」が 16.3%となっている。市内交通費の平均額は 1,039 円であり、昨年度（1,160 円）と比較すると 121 円の減額となっている。

観光地点別にみると、「名古屋城」の入込客では「1,000～3,000 円未満」の割合が最も多く、平均額は 1,837 円と最も高額である。また、「イベント会場」や「シートレインランド」でも「1,000～3,000 円未満」の割合は比較的多く、平均額は 1,000 円以上である。一方、「名古屋まつり」と「熱田神宮」では「交通費はかからない」の割合が相対的に多く、平均額は 600 円前後と低額である。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市外からの宿泊客」では「1,000～3,000 円未満」の割合が最も多く、平均額も 2000 円を超えている。

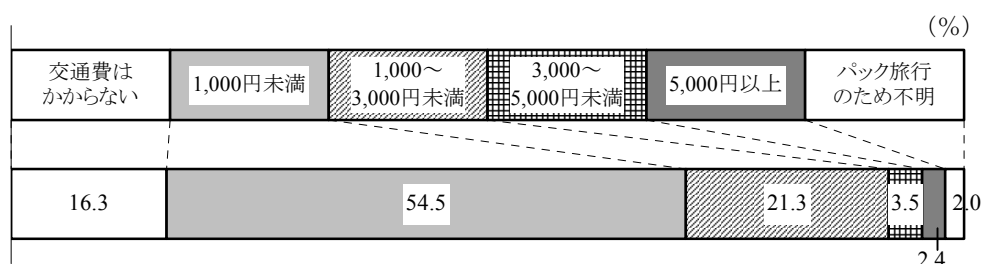


図 2-1-6 入込客の市内交通費

表 2-1-10 入込客の市内交通費（地点・地域×宿泊別）

（単位：％）

市内交通費		交通費はかからない	1,000円未満	1,000～3,000円未満	3,000～5,000円未満	5,000円以上	バック旅行のため不明	合 計	平均額（円）
地点・地域×宿泊									
観光地点	名古屋城	17.4	30.3	31.6	10.3	8.0	2.4	100.0	1,837
	熱田神宮	22.5	62.8	9.4	1.3	0.8	3.2	100.0	634
	ノリタケの森	20.7	55.7	13.9	2.4	1.9	5.4	100.0	840
	シートレインランド	6.4	59.0	27.7	4.0	2.1	0.8	100.0	1,174
	名古屋まつり	28.3	58.7	11.5	1.0	0.5	0.0	100.0	599
	イベント会場	2.7	60.2	33.6	2.4	1.1	0.0	100.0	1,151
地域×宿泊	名古屋市	31.3	62.7	5.7	0.3	0.0	0.0	100.0	439
	宿泊客	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	500
	日帰り客	31.4	62.6	5.7	0.3	0.0	0.0	100.0	439
	名古屋市外	7.9	50.0	30.0	5.3	3.7	3.1	100.0	1,383
	宿泊客	8.8	32.3	35.4	10.1	9.7	3.7	100.0	2,080
	日帰り客	7.6	56.2	28.0	3.7	1.6	2.9	100.0	1,139
全 体		16.3	54.5	21.3	3.5	2.4	2.0	100.0	1,039

注：平均額の計算式：{(0 円) × (「交通費はかからない」の回答者数) + (500 円) × (「1,000 円未満」の回答者数) + (2,000 円) × (「1,000～3,000 円未満」の回答者数) + (4,000 円) × (「3,000～5,000 円未満」の回答者数) + (7,500 円) × (「5,000 円以上」の回答者数)} / {(全回答者数) - (「バック旅行のため不明」の回答者数)}

d. 市内での土産代

「名古屋市内で土産を購入する」という回答が全体では 42.2%であり、支出額としては、「2,000 円未満」(19.6%)や「2,000～5,000 円未満」(14.8%)の割合が多い。土産代の平均額は 1,580 円であり、昨年度 (1,724 円) と比較すると 144 円の減額となっている。

観光地点別にみると、「土産を購入する」割合は、「名古屋城」(75.2%)と「ノリタケの森」(56.1%)の入込客では過半数を占める。一方、「名古屋まつり」や「イベント会場」の入込客では購入する割合は 2 割と低く、平均額は 600 円前後と低額である。

地域・宿泊別にみると、「土産を購入する」割合は、「名古屋市」居住者より「名古屋市外」からの入込客の方が、「日帰り客」より「宿泊客」の方がかなり多く、特に「名古屋市外からの宿泊客」では「購入する」割合は 8 割を超え、平均額は 4,658 円と高額である。

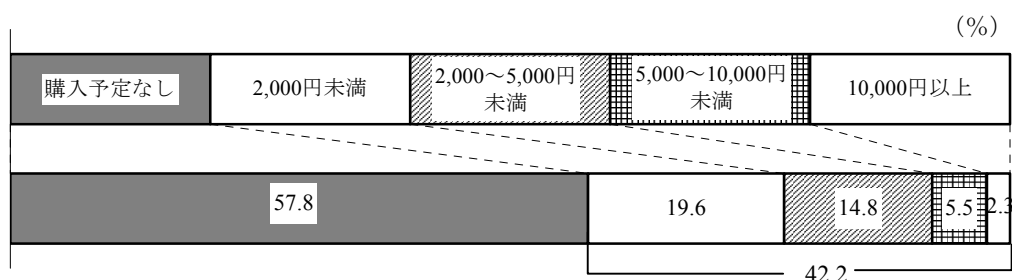


図 2-1-7 入込客の市内での土産代

表 2-1-11 入込客の市内での土産代 (地点・地域×宿泊別)

(単位: %)

地点・地域×宿泊		土産代					合計	平均額 (円)
		買わない	2,000円 未満	2,000～ 5,000円 未満	5,000～ 10,000円 未満	10,000円 以上		
観光地点	名古屋城	24.8	27.3	30.5	12.6	4.8	100.0	3,251
	熱田神宮	64.2	19.4	10.8	4.0	1.6	100.0	1,190
	ノリタケの森	43.9	20.7	19.5	10.9	5.0	100.0	2,702
	シートレインランド	56.1	26.8	13.9	2.1	1.1	100.0	1,136
	名古屋まつり	79.3	12.0	6.6	1.6	0.5	100.0	572
	イベント会場	79.1	11.2	7.4	1.7	0.6	100.0	629
地域×宿泊	名古屋市	77.8	16.3	4.7	1.1	0.1	100.0	440
	宿泊客	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	500
	日帰り客	77.8	16.2	4.7	1.1	0.2	100.0	440
	名古屋市外	46.9	21.3	20.4	7.9	3.5	100.0	2,212
	宿泊客	14.1	21.8	36.5	18.9	8.7	100.0	4,658
	日帰り客	58.5	21.2	14.7	4.0	1.6	100.0	1,343
全 体		57.8	19.6	14.8	5.5	2.3	100.0	1,580

注: 平均額の計算式: $\{(0 \text{ 円}) \times (\text{「買わない」の回答者数}) + (1,000 \text{ 円}) \times (\text{「2,000 円未満」の回答者数}) + (3,500 \text{ 円}) \times (\text{「2,000 ～ 5,000 円未満」の回答者数}) + (7,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000 ～ 10,000 円未満」の回答者数}) + (20,000 \text{ 円}) \times (\text{「10,000 円以上」の回答者数})\} / (\text{全回答者数})$

e. 市内での食事代

市内での食事に係る支出をみると、全体では「2,000 円未満」(44.7%) が最も多く、次いで「2,000～5,000 円未満」が 23.8%、「ジュース程度」が 20.9%となっている。なお、食事代の平均額は 2,584 円であり、昨年度 (2,809 円) と比較すると 225 円の減額となっている。

観光地点別にみると、「名古屋城」と「ノリタケの森」の入込客では「2,000～5,000 円未満」の割合が最も多くなっている。一方、「シートレインランド」と「名古屋まつり」、「イベント会場」の入込客では「2,000 円未満」の割合が半数以上である。また、「熱田神社」の入込客では「ジュース程度」の割合が比較的多い。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市外からの宿泊客」では 2,000 円未満の割合が少なく、平均額は 7,304 円と高額になっている。

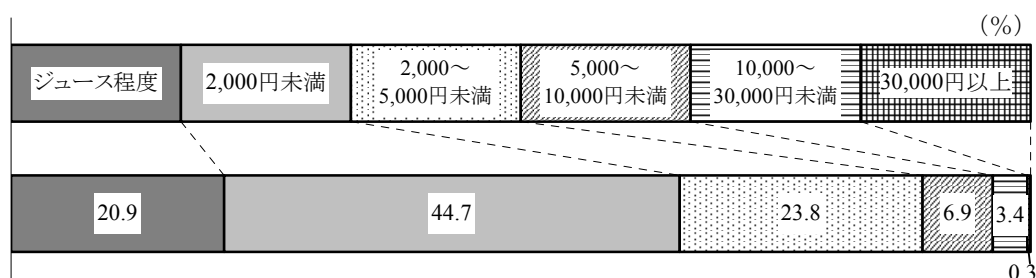


図 2-1-8 入込客の市内での食事代

表 2-1-12 入込客の市内での食事代（地点・地域×宿泊別）

(単位：%)

市内食事代		ジュース程度	2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～30,000円未満	30,000円以上	合計	平均額(円)
地点・地域×宿泊									
観光地点	名古屋城	9.0	27.7	38.4	18.0	6.4	0.5	100.0	4,451
	熱田神社	30.8	41.0	20.3	4.2	3.5	0.2	100.0	2,199
	ノリタケの森	17.9	30.5	32.5	11.7	6.9	0.5	100.0	3,886
	シートレインランド	20.6	58.1	16.1	3.8	1.1	0.3	100.0	1,784
	名古屋まつり	22.3	52.7	19.6	2.9	2.3	0.2	100.0	1,959
	イベント会場	24.5	58.5	16.0	0.8	0.2	0.0	100.0	1,235
地域×宿泊	名古屋市	32.2	49.6	15.3	2.4	0.5	0.0	100.0	1,315
	宿泊客	32.3	49.8	15.1	2.3	0.5	0.0	100.0	4,500
	日帰り客	14.6	42.0	28.6	9.4	5.0	0.4	100.0	1,306
	名古屋市外	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	100.0	3,287
	宿泊客	3.7	14.9	37.8	25.6	16.4	1.6	100.0	7,304
	日帰り客	18.4	51.6	25.3	3.7	1.0	0.0	100.0	1,867
全 体		20.9	44.7	23.8	6.9	3.4	0.3	100.0	2,584

注：平均額の計算式：{(0 円) × (「ジュース程度」の回答者数) + (1,000 円) × (「2,000 円未満」の回答者数) + (3,500 円) × (「2,000～5,000 円未満」の回答者数) + (7,500 円) × (「5,000～10,000 円未満」の回答者数) + (20,000 円) × (「10,000～30,000 円未満」の回答者数) + (40,000 円) × (「30,000 円以上」の回答者数)} / (全回答者数)

f. 宿泊代

「名古屋市内に宿泊する」と回答した割合は 16.9%であり、1泊あたりの宿泊代は、「5,000～15,000 円未満」（9.1%）の割合が多い。

なお、名古屋市内の宿泊施設に宿泊する方の1泊あたりの宿泊代の平均額は10,316円であり、昨年度（11,340円）と比較すると1,024円の減額となっている。

観光地点別にみると、「名古屋城」の入込客では49.2%と半数が名古屋市内に宿泊している。また、「ノリタケの森」の入込客でも「名古屋市内に宿泊する」割合は24.2%みられる。一方、「イベント会場」の入込客ではほとんどが「宿泊しない」としている。

「名古屋市内の宿泊客」では、宿泊施設以外に泊まる方が多い。

宿泊客の宿泊代は、各階層とも「5,000～15,000 円未満」が中心である。

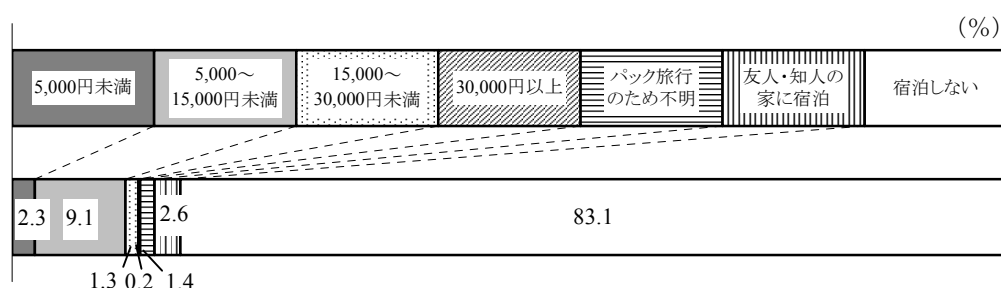


図 2-1-9 入込客の宿泊代

表 2-1-13 入込客の宿泊代（地点・地域×宿泊別）

（単位：％）

市内宿泊代		5,000円未満	5,000～15,000円未満	15,000～30,000円未満	30,000円以上	バック旅行のため不明	友人・知人の家に宿泊	宿泊しない	合計	平均額（円）
地点・地域×宿泊										
観光地点	名古屋城	8.2	28.1	5.1	0.6	4.0	3.2	50.8	100.0	10,525
	熱田神宮	1.3	6.0	0.5	0.0	1.0	2.2	89.0	100.0	9,541
	ノリタケの森	3.5	11.6	1.8	0.3	2.5	4.5	75.8	100.0	10,301
	シートレインランド	0.5	4.6	0.2	0.0	0.8	1.8	92.1	100.0	9,697
	名古屋まつり	0.3	3.3	0.5	0.0	0.2	3.8	91.9	100.0	10,900
	イベント会場	0.2	0.8	0.0	0.0	0.0	0.3	98.7	100.0	8,750
地域×宿泊	名古屋市内	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	99.7	100.0	10,000
	宿泊客	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	100.0	10,000
	日帰り客	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	—
	名古屋市外	3.6	14.1	2.1	0.2	2.2	3.9	73.9	100.0	10,316
	宿泊客	13.8	53.8	7.9	1.0	8.4	15.1	0.0	100.0	10,316
	日帰り客	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	—
全体		2.3	9.1	1.3	0.2	1.4	2.6	83.1	100.0	10,316

注：平均額の計算式：{(2,500 円)×(「5,000 円未満」の回答者数)+(10,000 円)×(「5,000～15,000 円未満」の回答者数)+(22,500 円)×(「15,000～30,000 円未満」の回答者数)+(40,000 円)×(「30,000 円以上」の回答者数)}÷{(全回答者数)－(「バック旅行のため不明」の回答者数)－(「友人・知人の家に宿泊」の回答者数)－(「宿泊しない」の回答者数)}

④来名回数（市外居住者が名古屋を訪れた回数）

名古屋市外に居住する方（全体の 64.3%）の来名回数としては、「10 回以上」が 61.4%と最も多く、「今回はじめて」訪れた割合は 14.7%である。

「10 回以上」の割合は、「イベント会場」の入込客や「愛知県（名古屋市を除く）」居住者では 9 割以上を占める。一方、「今回はじめて」訪れた割合は、「名古屋城」（39.6%）の入込客や「東海以外」（36.9%）からの入込客では比較的多い。

表 2-1-14 名古屋市外からの入込客の来名回数（地点・地域別）

（単位：％）

回 数		はじめて	2 回目	3 回目	4 ～ 9 回目	10 回以上	合 計
観光地点・地域							
観 光 地 点	名古屋城	39.6	14.3	12.6	9.8	23.7	100.0
	熱田神宮	10.4	8.1	3.6	6.8	71.1	100.0
	ノリタケの森	14.6	10.9	8.4	12.8	53.3	100.0
	シートレインランド	5.7	6.0	6.7	12.7	68.9	100.0
	名古屋まつり	5.5	4.2	4.7	6.4	79.2	100.0
	イベント会場	1.1	0.6	2.4	4.3	91.6	100.0
地 域	東 海	1.5	1.8	2.5	6.7	87.5	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	0.4	0.3	1.4	4.2	93.7	100.0
	岐阜県・三重県・静岡県	3.6	4.7	4.5	11.3	75.9	100.0
	東海以外	36.9	18.0	14.3	13.2	17.6	100.0
全 体		14.7	7.9	6.9	9.1	61.4	100.0

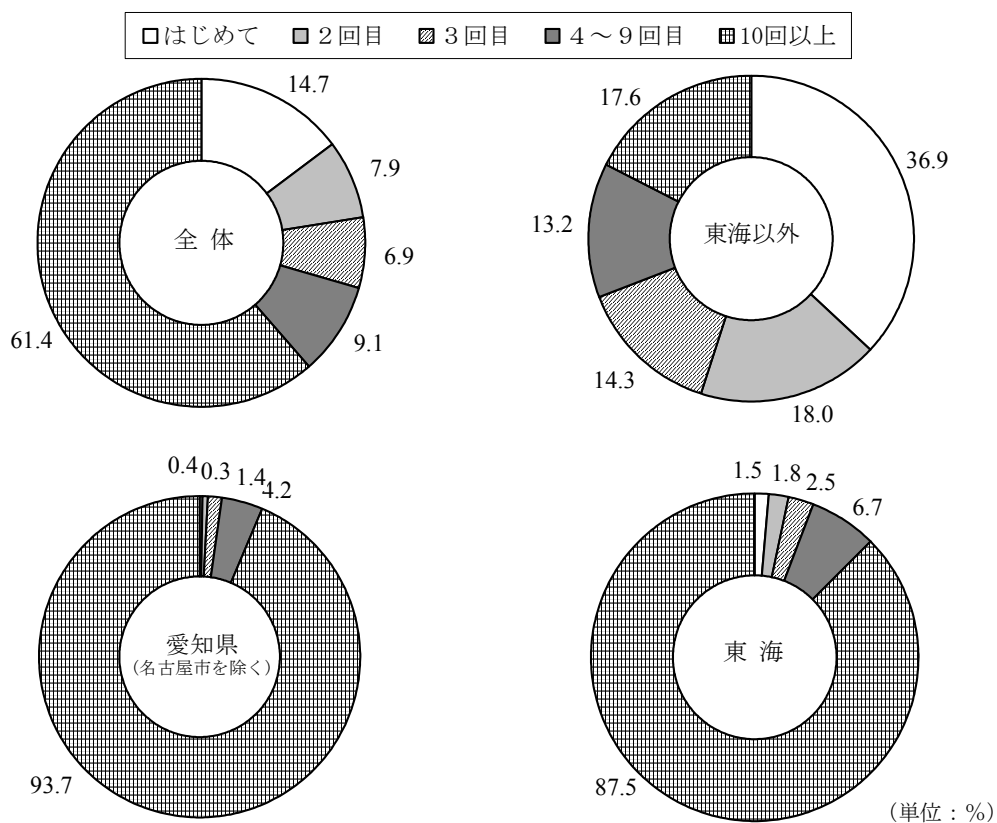


図 2-1-10 入込客の来名回数（地域別）

⑤交通機関

名古屋市外居住者の名古屋市内への主な交通手段は、全体では「自家用車」が51.9%と過半数を占め。次いで「ＪＲ」(23.4%)、「名鉄電車」(10.3%)、「観光バス」(5.9%)となっている。

観光地点別にみると、「ノリタケの森」と「名古屋まつり」の入込客では「ＪＲ」の割合が最も高いが、そのほかでは「自家用車」の割合が最も高く、特に「イベント会場」と「シートレインランド」の入込客では８割前後を占めている。また、「名古屋城」の入込客では「ＪＲ」の割合が、「名古屋まつり」の入込客では「名鉄電車」の割合がそれぞれ３割前後と比較的多い。

居住地別にみると、「東海」内の各地域とも「自家用車」が最も多い。また、「愛知県（名古屋市を除く）」では「名鉄電車」、「岐阜県」と「静岡県」では「ＪＲ」、「三重県」では「近鉄電車」も比較的多い。一方、「東海以外」からの入込客では「ＪＲ」を利用する割合が41.1%と最も高くなっている。

旅行形態別にみると、「幼児・小学生連れ」など「家族連れ」や「友人・知人」では「自家用車」の割合が、「団体旅行」では「観光バス」の割合が、「ひとり」などでは「ＪＲ」の割合が最も多くなっている。

表 2-1-15 名古屋市外からの入込客の交通機関（地点・地域・旅行形態別）

（単位：％）

交通機関 地点・地域・旅行形態		J R	名 鉄 電 車	近 鉄 電 車	自 家 用 車	航 空 機	路 線 バ ス	観 光 バ ス	そ の 他	合 計
観 光 地 点	名古屋城	33.1	4.6	3.1	43.3	3.5	2.4	8.0	4.1	102.1
	熱田神宮	22.5	19.2	2.9	45.3	0.7	1.0	5.9	4.6	102.1
	ノリタケの森	34.0	9.9	5.8	23.8	3.0	3.6	15.8	5.6	101.5
	シートレインランド	10.2	9.0	2.2	76.6	0.5	0.2	1.7	1.2	101.6
	名古屋まつり	34.7	26.7	6.4	26.7	1.7	3.4	0.0	3.4	103.0
	イベント会場	7.6	4.1	1.7	86.2	0.0	0.4	0.2	0.4	100.6
地 域	東 海	12.9	15.7	3.3	64.5	0.0	1.3	1.7	2.0	101.4
	愛知県（名古屋市を除く）	10.3	21.5	1.1	62.9	0.0	1.5	1.7	2.3	101.3
	岐阜県	21.1	9.9	0.0	65.7	0.0	0.5	0.9	2.8	100.9
	三重県	6.8	0.0	19.0	71.7	0.0	2.0	0.5	0.5	100.5
	静岡県	31.5	3.6	0.0	62.2	0.0	0.0	5.4	0.0	102.7
	東海以外	41.1	1.2	3.9	30.8	4.6	2.7	13.0	5.2	102.5
旅 行 形 態	ひとり	40.6	23.9	2.4	21.2	3.1	3.4	1.7	6.1	102.4
	友人・知人	25.3	9.2	5.5	49.1	1.8	2.8	4.5	4.3	102.5
	家 族	4.7	6.0	0.7	88.2	0.2	0.0	0.0	0.2	100.0
	夫婦	27.6	9.8	2.0	53.3	2.0	1.0	2.5	2.5	100.7
	その他	24.9	9.8	3.7	57.7	2.1	1.6	2.1	0.5	102.4
	団体旅行	8.7	1.7	7.0	2.6	0.0	0.9	71.3	9.6	101.8
	その他	60.0	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0	100.0
全 体		23.4	10.3	3.5	51.9	1.7	1.8	5.9	3.2	101.7

（複数回答）

⑥名古屋市以外の訪問地

名古屋市外に居住する入込客のうち、「名古屋市以外にも訪問する」方の割合は全体では17.7%である。その訪問先としては、「長島温泉・湯の山・鈴鹿」(3.9%)が最も多く、以下、「明治村・犬山」(2.9%)、「豊田・岡崎・足助」(1.9%)、「知多・常滑・セントレア」(1.9%)、「伊勢・志摩」(1.8%)、「下呂・高山」(1.7%)となっている。

観光地点別にみると、「名古屋市以外にも訪問する」という割合は、「名古屋城」の入込客では32.0%と高く、「ノリタケの森」(24.8%)と「熱田神宮」(21.5%)の入込客も相対的に多い。一方、「名古屋まつり」、「イベント会場」の入込客では1割未満と少ない。

宿泊客では、「名古屋市以外にも訪問する」という割合が35.6%と高い。

表 2-1-16 名古屋市外からの入込客の訪問地

(単位：%)

訪問地		名古屋市内のみ	長島温泉・湯の山・鈴鹿	明治村・犬山	豊田・岡崎・足助	知多・常滑・セントレア	伊勢・志摩	下呂・高山	岐阜・関ヶ原	蒲郡・西浦・三谷	長久手・モリコロパーク方面	多治見・恵那・中津川	豊橋・伊良湖	豊川・鳳来寺	瀬戸・小原	その他	訪問地合計
観光地点・宿泊	名古屋城	68.0	4.8	5.2	3.1	2.2	3.7	3.7	3.0	2.6	0.9	2.0	0.9	1.9	0.6	4.4	39.0
	熱田神宮	78.5	4.2	3.6	2.0	4.2	3.6	2.6	1.6	0.7	0.7	0.7	0.7	0.0	0.3	5.2	30.1
	ノリタケの森	75.2	8.4	4.9	2.4	1.5	1.3	1.9	1.3	1.5	2.4	0.4	0.9	0.2	1.5	1.1	29.7
	シートレイアウト	88.0	3.5	1.5	1.5	2.5	1.2	0.2	1.0	1.0	1.2	0.0	0.7	0.5	0.0	0.7	15.5
	名古屋まつり	94.9	0.4	0.8	1.3	0.0	0.8	1.3	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	6.7
	イベント会場	97.2	0.4	0.2	0.9	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.2	2.7
	宿泊客	64.4	4.6	7.8	4.3	3.3	4.9	4.6	2.5	1.6	2.7	0.9	1.4	1.1	0.6	3.6	43.9
	日帰り客	88.6	3.7	1.2	1.1	1.3	0.7	0.7	0.8	1.0	0.3	0.6	0.3	0.3	0.4	1.7	14.1
	全 体	82.3	3.9	2.9	1.9	1.9	1.8	1.7	1.3	1.2	1.0	0.7	0.6	0.5	0.5	2.2	22.1

(複数回答)

⑦旅行日程

名古屋市以外からの入込客の旅行日程としては、「日帰り」が 69.0%であり、「2 日」(20.0%)、「3 日」(7.4%) など「2 日以上」の割合は合わせて 31.0%となっている。

観光地点別にみると、「2 日以上」の割合は、「名古屋城」の入込客では 65.5%と高く、「ノリタケの森」(34.9%)、「熱田神宮」(31.9%) の入込客でも比較的高い。一方、「イベント会場」の入込客では「日帰り」の割合がほとんどである。

居住地別にみると、「東海」居住者では大半が「日帰り」である。一方、「その他」(90.9%)、「関東」(87.7%) からの入込客では 9 割程度が「2 日以上」であり、「北陸」(71.5%)、「甲信越」(68.2%)、「近畿」(52.4%) からの入込客でも「2 日以上」の割合はそれぞれ過半数を占めている。

表 2-1-17 名古屋市外からの入込客の旅行日程（地点・地域別）

(単位：%)

日 程		日 帰 り	2 日	3 日	4 日	5 日 以 上	合 計
観 光 地 点 地 域	観 光 地 点・ 地 域						
	名古屋城	34.5	43.5	18.7	0.9	2.4	100.0
	熱田神宮	68.1	20.2	8.1	1.3	2.3	100.0
	ノリタケの森	65.1	22.5	4.7	4.1	3.6	100.0
	シートレインランド	82.6	11.7	3.7	0.5	1.5	100.0
	名古屋まつり	77.6	10.6	5.9	2.5	3.4	100.0
	イベント会場	97.9	1.7	0.2	0.2	0.0	100.0
	東 海	94.6	4.2	0.9	0.2	0.1	100.0
	関 東	12.3	48.8	24.4	6.0	8.5	100.0
	近 畿	47.6	41.4	7.3	2.0	1.7	100.0
	北 陸	28.5	60.7	6.0	1.2	3.6	100.0
	甲信越	31.8	54.5	11.4	2.3	0.0	100.0
	その他	9.1	41.6	35.7	4.5	9.1	100.0
	全 体	69.0	20.0	7.4	1.5	2.1	100.0

⑧市内での宿泊数

名古屋市以外からの入込客の中で「日帰り」を除いた方（全体の 19.9%）のうち、名古屋市内に宿泊する割合は 84.5%である。その泊数としては、「1泊」する割合が 62.0%と最も高く、「2泊」する割合が 14.2%となっている。

各階層とも「1泊」の割合が最も高い。

居住地別にみると、「2泊以上」する割合は、「北陸」と「近畿」からの入込客では1割前後と低い。

表 2-1-18 名古屋市外からの入込客の名古屋市内における宿泊数（地点・地域別）

（単位：％）

市内宿泊数 観光地点・地域		宿泊しない	1泊	2泊	3泊	4泊以上	合 計
観 光 地 点	名古屋城	13.3	68.6	15.0	2.3	0.8	100.0
	熱田神宮	30.6	55.2	10.2	2.0	2.0	100.0
	ノリタケの森	8.6	60.7	12.3	11.0	7.4	100.0
	シートレインランド	27.2	51.4	14.3	0.0	7.1	100.0
	名古屋まつり	7.5	49.1	22.7	9.4	11.3	100.0
	イベント会場	20.0	60.0	10.0	0.0	10.0	100.0
地 域	東 海	14.5	69.9	12.0	0.0	3.6	100.0
	関 東	11.6	59.5	17.0	7.2	4.7	100.0
	近 畿	19.6	67.1	7.6	4.4	1.3	100.0
	北 陸	26.7	66.6	5.0	0.0	1.7	100.0
	甲信越	13.3	70.1	13.3	3.3	0.0	100.0
	その他	15.0	52.9	21.4	3.6	7.1	100.0
全 体		15.5	62.0	14.2	4.4	3.9	100.0

2-2 宿泊客の現状

(1) 調査の概要

①調査の目的

市内に宿泊する人の来名目的や遊覧状況等について把握するためアンケート調査を実施した。

②調査日時等

- 秋期調査：平成 20 年 11 月 1 日 ～11 月 30 日
- 春期調査：平成 21 年 3 月 1 日 ～ 3 月 31 日

③調査方法

この調査は、予め調査票を宿泊施設の客室等に設置し、宿泊者が記入した上でフロントに提出するという方法で行った。

④調査宿泊施設

施設の区分（登録ホテル、ホテル、旅館）や施設の規模、立地場所を勘案して、以下の 20 施設に協力していただきました。

・登録ホテル 14 施設

ウェスティンナゴヤキャッスル、名鉄グランドホテル、ホテルアソシア名古屋ターミナル、ホテルキャッスルプラザ、ロイヤルパークイン名古屋、名鉄ニューグランドホテル、名古屋観光ホテル、名古屋国際ホテル、名古屋東急ホテル、サイプレスガーデンホテル、名古屋マリOTTアソシアホテル、東京第一ホテル錦、全日空ホテルズホテルグランコート名古屋、ホテルサンルートプラザ名古屋

・ホテル 3 施設

名古屋ガーデンパレス、ナゴヤローレンホテル、笠寺ワシントンホテルプラザ

・登録旅館 1 施設

つちやホテル

・旅館 2 施設

旅館浅野屋、ホテル大名古屋温泉

⑤調査件数

- 秋 期：469 サンプル
- 春 期：400 サンプル
- 合 計：869 サンプル

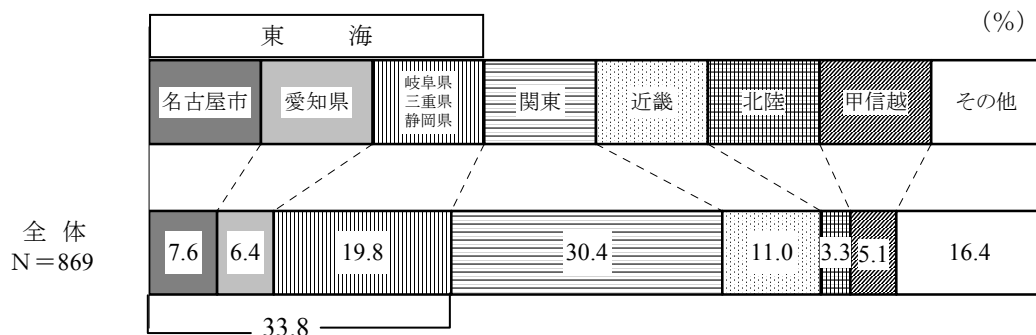
(2) 調査結果

①居住地構成、性・年齢構成

a. 居住地構成

宿泊客の居住地構成としては、全体では「名古屋市」が 7.6%、「愛知県（名古屋市を除く）」が 6.4%、「岐阜県、三重県、静岡県」が 19.8%であり、合わせて「東海」地域が 33.8%となっている。

「東海」地域外では、「関東」地域が 30.4%と多く、「近畿」地域は 11.0%、「甲信越」地域は 5.1%、「北陸」地域は 3.3%である。



注：愛知県は名古屋市を除く

図 2-2-1 宿泊客の居住地構成

b. 性・年齢構成

年齢は、全体では「20～29 歳」(26.7%)と「30～39 歳」(23.2%)が多く、以下「50～59 歳」(17.3%)、「40～49 歳」(16.0%)、「60～69 歳」(7.7%)、「10～19 歳」(5.0%)、「70 歳以上」(4.1%)となっている。

性別は、男性が 51.8%、女性が 48.2%と、男女ほぼ半々である。

性別に宿泊客の年齢をみると、男性では 20 歳代から 50 歳代がそれぞれ 2 割前後と分散している。一方、女性では「20～29 歳」(33.5%)が中心となっている。

表 2-2-1 宿泊客の性・年齢構成

(単位：%)

	10～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上	合計
全 体	5.0	26.7	23.2	16.0	17.3	7.7	4.1	100.0
男 性	5.4	19.9	22.7	16.9	21.5	7.7	5.9	51.8
女 性	4.8	33.5	24.1	15.0	12.8	7.3	2.5	48.2

注：男性、女性別の合計の列は、性別の構成比率である。

②旅行の内容

a. 今回の主な目的

宿泊客の旅行目的としては、「観光施設の見学」(16.3%)をはじめ「ショッピング」(8.3%)、「観劇・コンサート」(8.1%)、「飲食」(7.0%)などの「観光・娯楽」の割合が合わせて47.1%と半数近くを占め、「商用・公用」が22.2%、「帰省・冠婚葬祭」が10.7%、「大会・会議に参加」が8.3%となっている。

時系列にみると、「観光・娯楽」の割合は5割前後、「商用・公用」は2割前後、「帰省・冠婚葬祭」は1割前後で推移している。

性別にみると、男性では「商用・公用」の割合が34.5%と多く、「観光・娯楽」の割合計(34.6%)とほぼ同じである。女性では「観光施設の見学」(19.0%)、「ショッピング」(12.7%)、「観劇・コンサート」(12.7%)など観光・娯楽の割合が男性に比べ高い。

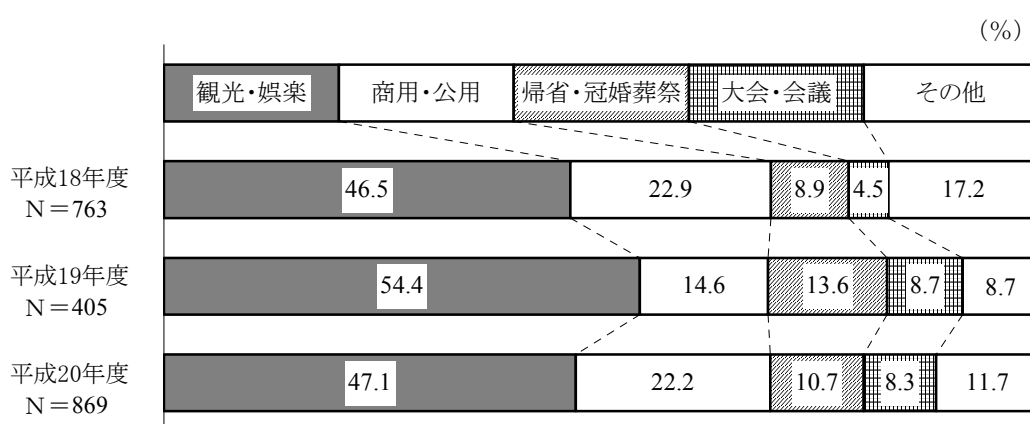


図 2-2-2 宿泊客の主な旅行目的と構成比の推移

表 2-2-2 宿泊客の旅行目的（性別）

(単位：%)

旅行目的 性別	観光・娯楽						商用・公用	帰省・冠婚葬祭	大会・会議に参加	その他	合計
	観光施設の見学	ショッピング	観劇・コンサート	イベント	飲食	その他の娯楽行為					
男性	12.6	4.7	4.0	3.0	7.3	3.0	34.5	9.8	11.5	9.6	100.0
女性	19.0	12.7	12.7	3.0	7.0	5.5	9.3	11.8	5.3	13.7	100.0
全体	16.3	8.3	8.1	2.9	7.0	4.5	22.2	10.7	8.3	11.7	100.0

b. 名古屋を選んだきっかけ

「観光・娯楽」を目的として訪れた宿泊客（410人）の名古屋を選んだきっかけとしては、「ホームページの情報」（23.0%）と「以前に来て良かったから」（20.5%）が多く、以下「雑誌・新聞をみて」（15.4%）、「友人・知人の推薦」（13.9%）、「テレビ・ラジオ番組の情報」（8.6%）となっている。

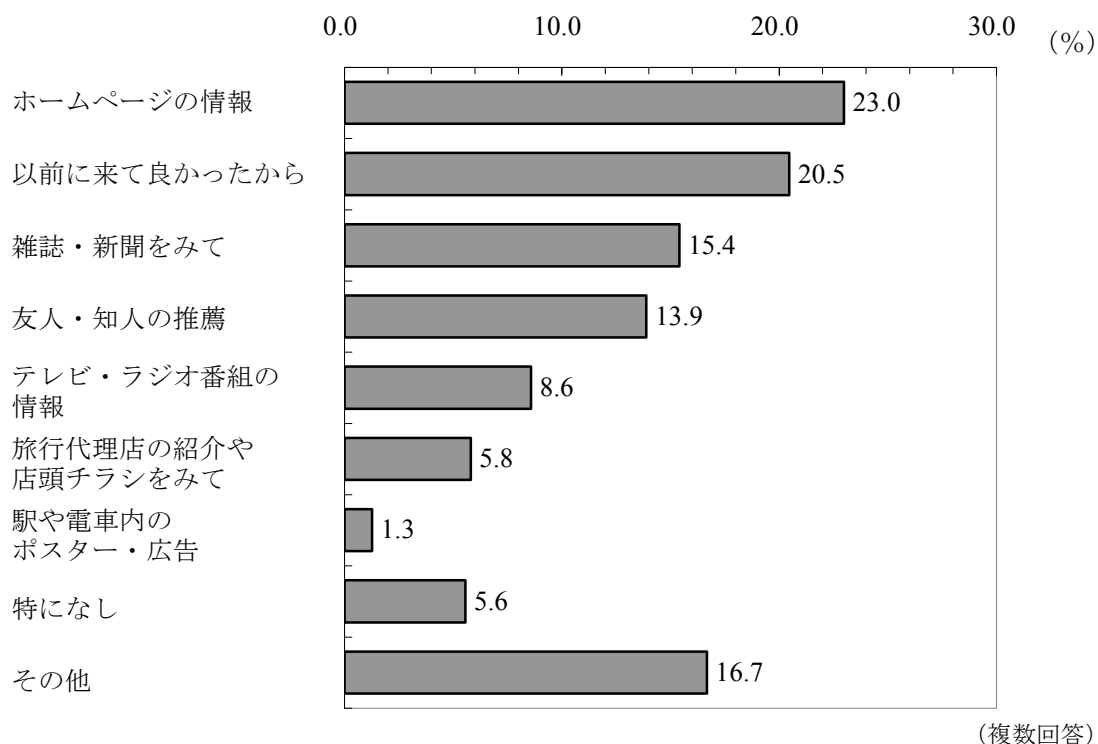


図 2-2-3 宿泊客の「観光・娯楽」で訪れたきっかけ

c. 訪問する主な観光施設

観光施設等を訪問するとした回答者は、869 人中 595 人（68.5%）であり、全体では「名古屋城」が 27.5%と最も多く、次いで「熱田神宮」（11.5%）、「テレビ塔」（10.0%）、「名古屋港水族館」（9.6%）、「徳川美術館」（7.8%）、「ノリタケの森」（6.6%）、「徳川園」（6.6%）、「名古屋港」（5.5%）、「東山動植物園」（5.4%）となっている。

居住地別にみると、観光施設等を訪問する割合は「東海」「東海以外」ともほぼ同じである。訪問施設としては、「東海以外」からの宿泊客では「名古屋城」（32.1%）を訪れる割合が高く、「熱田神宮」（12.1%）、「徳川美術館」（9.4%）などを訪れる割合も相対的に高く、「東海」からの宿泊客に比べ多くの施設を訪問している。一方、「東海」からの宿泊客では「名古屋港水族館」（11.8%）、「テレビ塔」（11.5%）を訪れる割合が相対的に高い。

なお、宿泊客 1 人あたりの平均訪問施設数は 1.28 施設である。

表 2-2-3 宿泊客の訪問先

（単位：％）

訪問施設 地 域	名古屋城	産業技術記念館	ノリタケの森	徳川美術館	徳川園	熱田神宮	白鳥庭園	東山動植物園	東山スカイタワー	テレビ塔	名古屋市美術館	愛知県美術館
東 海	19.3	2.3	5.6	4.9	4.6	10.5	0.7	4.9	2.6	11.5	2.0	1.3
東海以外	32.1	5.3	7.1	9.4	7.7	12.1	1.1	5.5	0.9	9.1	1.2	2.1
全 体	27.5	4.3	6.6	7.8	6.6	11.5	0.9	5.4	1.5	10.0	1.5	1.8

訪問施設 地 域	名古屋ポストン美術館	名古屋市科学館	でんきの科学館	名古屋市博物館	ランの館	名古屋港水族館	名古屋港	シートレインランド	有松・鳴海絞会館	その他	なし	平均訪問施設数
東 海	1.6	1.0	1.6	0.7	2.6	11.8	7.2	2.6	0.7	20.3	31.5	1.20
東海以外	1.1	1.1	0.9	0.2	0.9	8.4	4.5	0.4	0.0	20.7	31.6	1.32
全 体	1.3	1.0	1.2	0.3	1.5	9.6	5.5	1.2	0.2	20.5	31.5	1.28

（複数回答）

注：平均訪問施設数の計算式：{訪れた施設の回答数及び訪れる予定の施設の回答数（「なし」の回答は除く）の合計数}
/（全回答者数）

d. 旅行形態

全体では「ひとり」(34.5%)と「友人・知人」(32.5%)が多く、「家族連れ」の割合は「家族(夫婦)」(12.1%)など合わせて26.2%である。

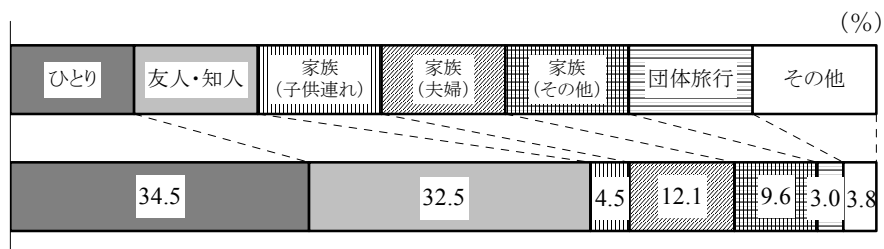


図 2-2-4 宿泊客の旅行形態

「パッケージ旅行」の割合は、全体では12.8%となっている。

居住地別にみると「その他」の地域からの宿泊客では25.0%が、「関東」、「甲信越」からの宿泊客でも1割以上が、パッケージ旅行を利用している。

表 2-2-4 宿泊客のパッケージ旅行利用有無（居住地別）

(単位：%)

地 域	旅行形態	パッケージ 旅行	パッケージ 旅行ではない	合 計
東 海		7.4	92.6	100.0
	名古屋市	9.1	90.9	100.0
	愛知県(名古屋市を除く)	5.2	94.8	100.0
	岐阜県・三重県・静岡県	7.5	92.5	100.0
関 東		14.7	85.3	100.0
近 畿		8.6	91.4	100.0
北 陸		4.2	95.8	100.0
甲信越		13.2	86.8	100.0
その他		25.0	75.0	100.0
全 体		12.8	87.2	100.0

③旅行費用

a. 旅行予算

宿泊客の旅行予算は、「10,000～30,000 円未満」が 46.2%と最も多く、次いで「30,000～50,000 円未満」(23.7%)、「5,000～10,000 円未満」(14.5%)、「50,000 円以上」(14.3%)となっている。

居住地別にみると、「その他」の地域からの宿泊客では「50,000 円以上」の割合が最も多い。そのほかの地域では「10,000～30,000 円未満」が最も多いものの、「関東」、「甲信越」地域では 30,000 円以上も半数前後みられ、遠方からの宿泊客では高額な予算となっている割合が多い。

なお、旅行予算の平均額は 30,551 円であり、昨年度 (32,493 円) と比較して 1,942 円の減額となっている。

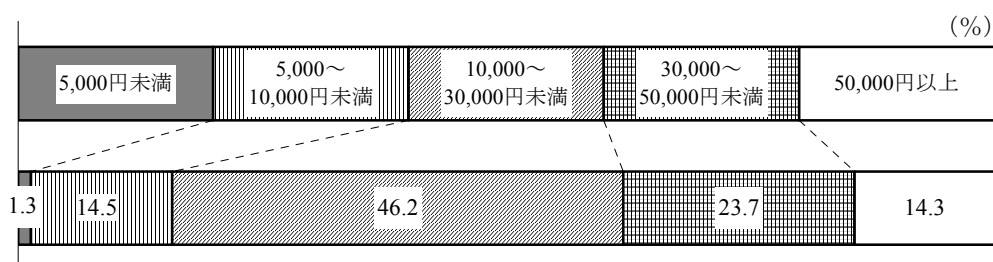


図 2-2-5 宿泊客の旅行予算

表 2-2-5 宿泊客の旅行予算 (居住地別)

(単位: %)

旅行予算	5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～30,000円未満	30,000～50,000円未満	50,000円以上	合計	平均額 (円)
地域							
東 海	2.1	27.8	53.7	12.1	4.3	100.0	20,925
名古屋市	3.1	32.8	48.5	7.8	7.8	100.0	21,211
愛知県 (名古屋市を除く)	5.2	24.1	58.7	10.3	1.7	100.0	19,095
岐阜県・三重県・静岡県	0.6	27.0	54.1	14.5	3.8	100.0	21,478
関 東	0.9	7.1	40.5	36.4	15.1	100.0	34,556
近 畿	2.5	7.4	61.7	21.0	7.4	100.0	26,914
北 陸	0.0	0.0	66.7	23.8	9.5	100.0	30,000
甲信越	0.0	9.1	45.4	18.2	27.3	100.0	37,500
その他	0.0	6.0	22.4	31.9	39.7	100.0	47,435
全 体	1.3	14.5	46.2	23.7	14.3	100.0	30,551

注：平均額の計算式：{(2,500 円) × (「5,000 円未満」の回答者数) + (7,500 円) × (「5,000～10,000 円未満」の回答者数) + (20,000 円) × (「10,000～30,000 円未満」の回答者数) + (40,000 円) × (「30,000～50,000 円未満」の回答者数) + (75,000 円) × (「50,000 円以上」の回答者数)} / (全回答者数)

b. 名古屋市内予算

宿泊客に名古屋市内で使う金額を具体的に尋ねたところ、「10,000～20,000 円未満」(31.4%)、「20,000～30,000 円未満」(27.2%)が多く、以下「30,000～50,000 円未満」(18.1%)、「5,000～10,000 円未満」(11.2%)、「50,000 円以上」(9.2%)となっており、平均額は 22,624 円である。

居住地別にみると、平均額は、「東海」、「近畿」からの宿泊客では約 20,000 円であり、「関東」、「その他」、「北陸」からの宿泊客では 23,000～25000 円で、「甲信越」からの宿泊客では 37,750 円と消費額は高額となっている。

なお、平均額は、昨年度 (22,154 円) と比較して 470 円の増額となっている。

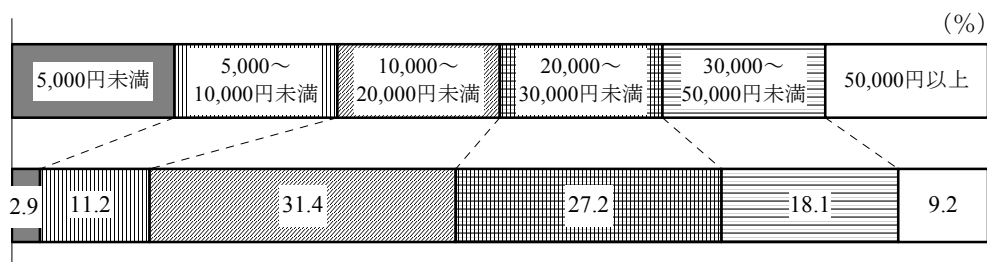


図 2-2-6 宿泊客の名古屋市内予算

表 2-2-6 宿泊客の名古屋市内予算 (居住地別)

(単位: %)

地 域	旅行予算						合 計	平均額 (円)
	5,000円 未満	5,000～ 10,000円 未満	10,000～ 20,000円 未満	20,000～ 30,000円 未満	30,000～ 50,000円 未満	50,000円 以上		
東 海	1.9	11.4	34.2	27.0	19.0	6.5	100.0	20,721
名古屋市	1.6	16.4	36.1	29.5	8.2	8.2	100.0	19,320
愛知県 (名古屋市を除く)	3.8	5.7	30.1	26.4	28.3	5.7	100.0	22,302
岐阜県・三重県・静岡県	1.3	11.4	34.9	26.2	20.2	6.0	100.0	20,732
関 東	2.5	11.1	33.3	27.3	16.2	9.6	100.0	23,159
近 畿	2.8	12.7	31.0	26.8	21.1	5.6	100.0	19,944
北 陸	5.6	0.0	16.7	44.4	22.2	11.1	100.0	24,611
甲信越	0.0	13.3	16.7	20.0	26.7	23.3	100.0	37,750
その他	6.6	11.3	28.3	27.4	13.2	13.2	100.0	23,184
全 体	2.9	11.2	31.4	27.2	18.1	9.2	100.0	22,624

c. 市内交通費

宿泊客の市内交通費は、全体では「1,000～3,000 円未満」が 38.6%と最も多く、次いで「1,000 円未満」(22.9%)、「3,000～5,000 円未満」(15.3%)、「5,000 円以上」(10.6%)、「交通費はかからない」(10.7%) となっている。

居住地別にみると、「名古屋市」、「近畿」からの宿泊客では「1,000 円未満」、「甲信越」からの宿泊客では「5,000 円以上」の割合が最も多く、そのほかの地域では「1,000～3,000 円未満」が最も多い。

なお、市内交通費の平均額は 2,337 円であり、昨年度 (2,264 円) と比較して 73 円の増額となっている。

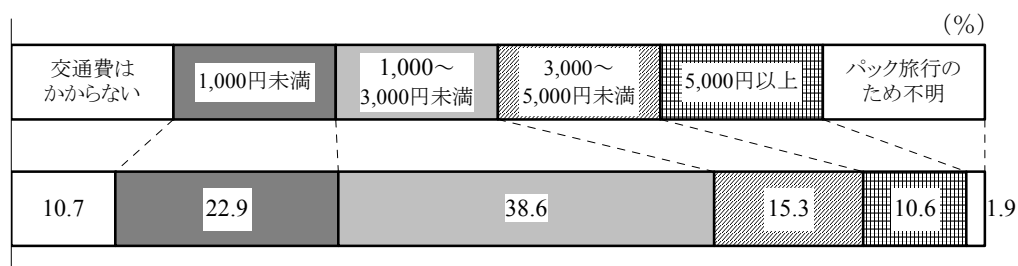


図 2-2-7 宿泊客の市内交通費

表 2-2-7 宿泊客の市内交通費（居住地別）

(単位：%)

市内交通費		交通費は かからない	1,000円 未満	1,000～ 3,000円 未満	3,000～ 5,000円 未満	5,000円 以上	バック旅 行のため 不明	合 計	平均額 (円)
地 域									
東 海		11.5	28.6	40.5	10.8	6.8	1.8	100.0	1,929
	名古屋市	19.0	39.7	33.3	4.8	1.6	1.6	100.0	1,194
	愛知県(名古屋市を除く)	16.9	27.1	39.0	13.6	1.7	1.7	100.0	1,612
	岐阜県・三重県・静岡県	6.4	24.8	44.0	12.1	10.8	1.9	100.0	2,344
関 東		9.4	19.7	40.8	17.5	11.7	0.9	100.0	2,511
近 畿		13.4	31.7	29.3	13.4	12.2	0.0	100.0	2,195
北 陸		8.7	13.0	56.6	8.7	13.0	0.0	100.0	2,522
甲信越		2.9	11.8	26.5	23.5	29.4	5.9	100.0	3,969
その他		12.5	15.8	34.2	20.8	11.7	5.0	100.0	2,601
全 体		10.7	22.9	38.6	15.3	10.6	1.9	100.0	2,337

注：平均額の計算式：{(0 円) × (「交通費はかからない」の回答者数) + (500 円) × (「1,000 円未満」の回答者数) + (2,000 円) × (「1,000～3,000 円未満」の回答者数) + (4,000 円) × (「3,000～5,000 円未満」の回答者数) + (7,500 円) × (「5,000 円以上」の回答者数)} / {(全回答者数) - (「バック旅行のため不明」の回答者数)}

d. 市内での土産代

市内で土産を「購入する」割合は 71.0%であり、購入額は「2,000～5,000 円未満」が 32.2%と最も多く、以下「2,000 円未満」(20.3%)、「5,000～10,000 円未満」(11.2%)、「10,000 円以上」(7.3%) となっている。

居住地別にみると、「購入しない」と回答した割合は、「名古屋市」(59.3%)、「愛知県(名古屋市を除く)」(49.1%) 居住の宿泊客では多く、遠方からの宿泊客の方が土産を購入している割合は多い。

購入額としては、「甲信越」からの宿泊客では「10,000 円以上」が最も多く、平均額は 7,833 円と高い。

なお、土産代の平均額は 3,624 円である。昨年度と比較すると購入する割合(昨年度 74.7%)は 3.7 ポイント減少しているものの、平均額(同 3,561 円)は 63 円の増額となっている。

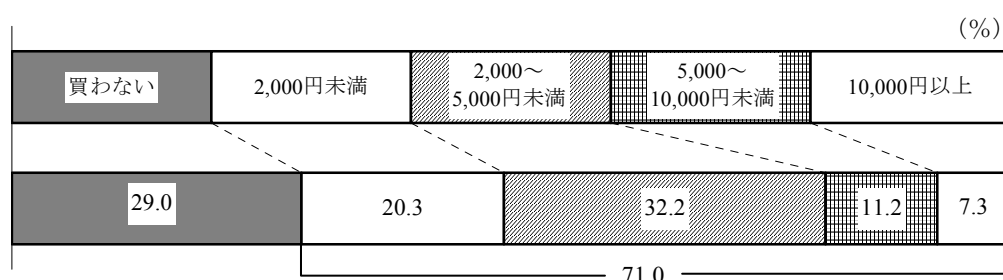


図 2-2-8 宿泊客の市内での土産代

表 2-2-8 宿泊客の市内での土産代 (居住地別)

(単位: %)

地 域	土産代	買わない	2,000円 未満	2,000～ 5,000円 未満	5,000～ 10,000円 未満	10,000円 以上	合 計	平均額 (円)
東 海		44.9	18.1	25.3	8.5	3.2	100.0	2,347
	名古屋市	59.3	20.3	14.1	4.7	1.6	100.0	1,359
	愛知県(名古屋市を除く)	49.1	13.6	22.0	10.2	5.1	100.0	2,686
	岐阜県・三重県・静岡県	37.3	19.0	31.0	9.5	3.2	100.0	2,620
関 東		21.8	21.3	37.8	12.4	6.7	100.0	3,802
近 畿		28.9	26.5	35.0	7.2	2.4	100.0	2,512
北 陸		8.7	17.4	52.2	13.0	8.7	100.0	4,717
甲信越		10.3	23.0	23.1	15.4	28.2	100.0	7,833
その他		16.7	19.1	35.0	15.0	14.2	100.0	5,375
全 体		29.0	20.3	32.2	11.2	7.3	100.0	3,624

注: 平均額の計算式: $\{(0 \text{ 円}) \times (\text{「買わない」の回答者数}) + (1,000 \text{ 円}) \times (\text{「2,000 円未満」の回答者数}) + (3,500 \text{ 円}) \times (\text{「2,000 ～5,000 円未満」の回答者数}) + (7,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000～10,000 円未満」の回答者数}) + (20,000 \text{ 円}) \times (\text{「10,000 円以上」の回答者数})\} / (\text{全回答者数})$

e. 市内での食事代

市内での食事に係る支出は、全体では「2,000～5,000 円未満」が 33.1%と最も多く、次いで「5,000～10,000 円未満」(26.3%)、「2,000 円未満」(17.8%)、「10,000～30,000 円未満」(16.8%)となっている。

居住地別にみると、「名古屋市」居住の宿泊客では「2,000 円未満」(31.2%)が最も多い。「関東」、「近畿」、「北陸」からの宿泊客では「5,000～10,000 円未満」が3割以上となっている。

なお、食事代の平均額は 7,384 円であり、昨年度 (7,844 円) と比較して 460 円の減額となっている。

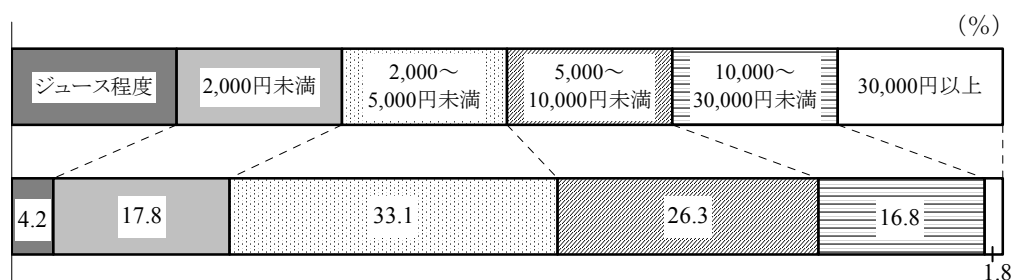


図 2-2-9 宿泊客の市内での食事代

表 2-2-9 宿泊客の市内での食事代（居住地別）

(単位：%)

地 域	市内食事代	ジュース程度	2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～30,000円未満	30,000円以上	合 計	平均額 (円)
東 海		5.0	22.1	33.4	23.5	15.3	0.7	100.0	6,498
	名古屋市	7.8	31.2	20.3	26.6	14.1	0.0	100.0	5,828
	愛知県 (名古屋市を除く)	1.8	21.0	33.3	21.1	21.0	1.8	100.0	7,868
	岐阜県・三重県・静岡県	5.0	18.8	38.7	23.1	13.8	0.6	100.0	6,278
関 東		3.1	12.6	32.7	31.4	17.5	2.7	100.0	8,200
近 畿		4.9	17.1	26.8	30.5	19.5	1.2	100.0	7,787
北 陸		4.5	13.6	31.9	31.9	13.6	4.5	100.0	8,182
甲信越		5.7	25.7	34.3	8.6	20.0	5.7	100.0	8,386
その他		4.1	14.0	39.7	23.1	17.4	1.7	100.0	7,397
全 体		4.2	17.8	33.1	26.3	16.8	1.8	100.0	7,384

注：平均額の計算式：{(0 円) × (「ジュース程度」の回答者数) + (1,000 円) × (「2,000 円未満」の回答者数) + (3,500 円) × (「2,000～5,000 円未満」の回答者数) + (7,500 円) × (「5,000～10,000 円未満」の回答者数) + (20,000 円) × (「10,000～30,000 円未満」の回答者数) + (40,000 円) × (「30,000 円以上」の回答者数)} / (全回答者数)

f. 宿泊代

1泊あたりの宿泊代としては、「5,000～15,000 円未満」が 70.6%を占めていて、次いで「15,000～30,000 円未満」(18.2%)となっている。

どの地域においても「5,000～15,000 円未満」が最も多い。

なお、1泊あたりの宿泊代の平均額は 12,805 円であり、昨年度 (13,576 円) と比較して 771 円の減額となっている。

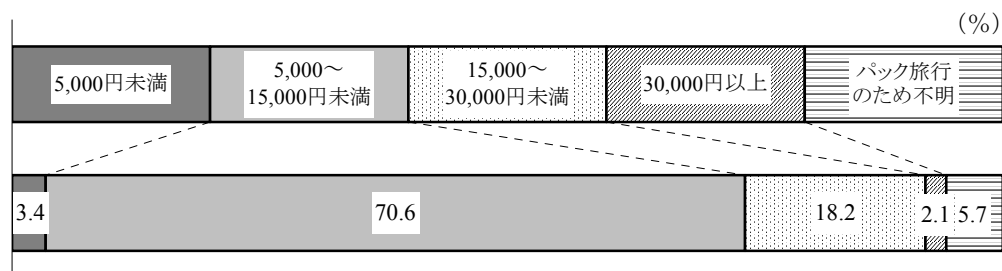


図 2-2-10 宿泊客の宿泊代

表 2-2-10 宿泊客の宿泊代 (居住地別)

(単位: %)

地域	市内宿泊代	5,000円未満	5,000～15,000円未満	15,000～30,000円未満	30,000円以上	パック旅行のため不明	合計	平均額 (円)
東海		5.0	70.4	20.4	1.5	2.7	100.0	12,708
	名古屋市	5.3	63.1	24.6	3.5	3.5	100.0	13,864
	愛知県 (名古屋市を除く)	1.9	69.8	28.3	0.0	0.0	100.0	13,396
	岐阜県・三重県・静岡県	6.0	73.4	16.0	1.3	3.3	100.0	12,017
関東		1.3	73.6	17.5	2.7	4.9	100.0	13,042
近畿		4.8	69.0	17.8	2.4	6.0	100.0	12,753
北陸		4.3	78.3	13.1	0.0	4.3	100.0	11,364
甲信越		5.7	71.4	14.3	2.9	5.7	100.0	12,348
その他		2.6	63.5	17.4	1.7	14.8	100.0	12,934
全体		3.4	70.6	18.2	2.1	5.7	100.0	12,805

注: 平均額の計算式: $\{(2,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000 円未満」の回答者数}) + (10,000 \text{ 円}) \times (\text{「5,000～15,000 円未満」の回答者数}) + (22,500 \text{ 円}) \times (\text{「15,000～30,000 円未満」の回答者数}) + (40,000 \text{ 円}) \times (\text{「30,000 円以上」の回答者数})\} / \{(全回答者数) - (\text{「パック旅行のため不明」の回答者数})\}$

④来名回数（市外居住者が名古屋を訪れた回数）

居住地が名古屋市外の宿泊客 800 人の来名回数としては、「10 回以上」の割合が 39.4%と最も多い。今回「はじめて」の割合は 17.6%であり、以下「4～9 回目」（16.6%）、「2 回目」（15.0%）、「3 回目」（11.4%）となっている。

居住地別にみると、「東海」では「10 回以上」（58.7%）が 6 割近くを占め、「はじめて」の割合は 1 割に満たないが、「東海以外」からの宿泊客では 22.9%が今回「はじめて」の来名である。

表 2-2-11 名古屋市外からの宿泊客の来名回数

(単位：%)

地 域	回 数	はじめて	2 回目	3 回目	4～9 回目	10回以上	合 計
東 海		5.5	8.6	12.7	14.5	58.7	100.0
愛知県（名古屋市を除く）		3.5	5.3	10.5	7.0	73.7	100.0
岐阜県・三重県・静岡県		6.1	9.8	13.5	17.2	53.4	100.0
東海以外		22.9	17.4	10.7	17.6	31.4	100.0
全 体		17.6	15.0	11.4	16.6	39.4	100.0

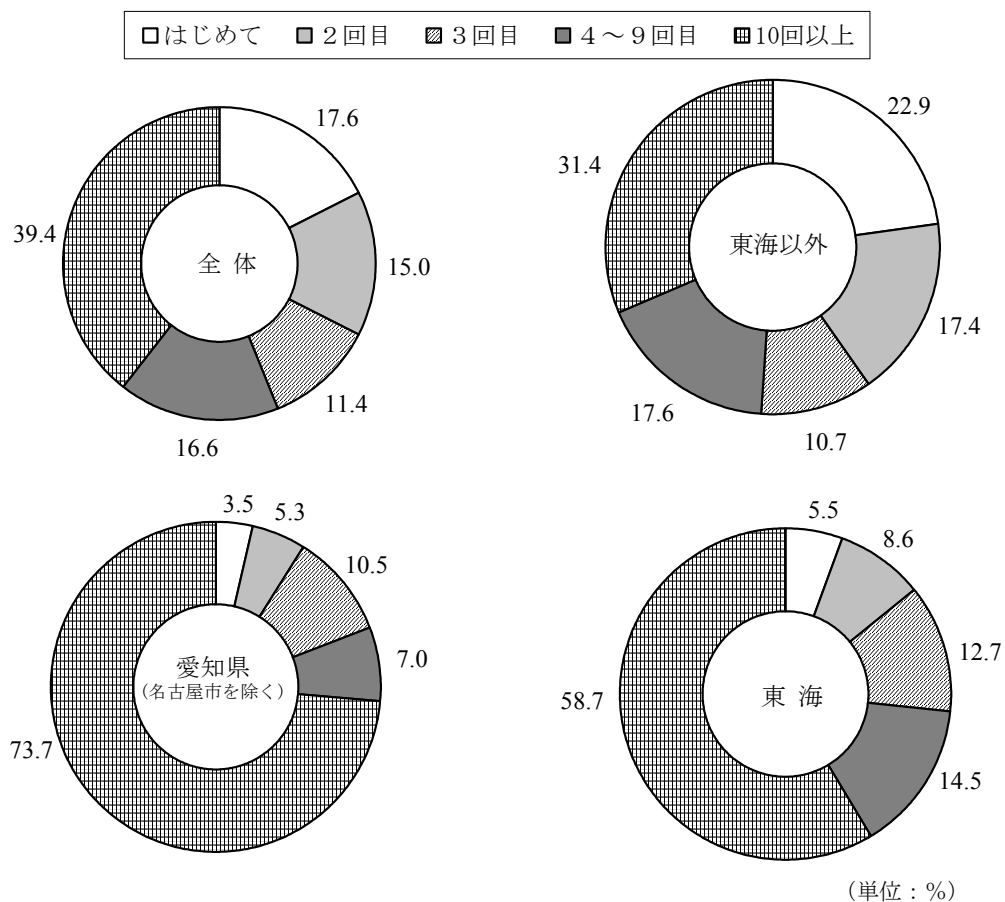


図 2-2-11 名古屋市外からの宿泊客の来名回数

⑤交通機関

居住地が名古屋市外の宿泊客の名古屋市までの主な交通手段は、「ＪＲ」が最も多く 57.6%を占めている。次いで「自家用車」(19.0%)、「航空機」(8.8%)、「名鉄電車」(6.8%)、「近鉄電車」(6.1%) となっている。

居住地別にみると、「愛知県」からの宿泊客では「名鉄電車」(38.6%)、「三重県」からの宿泊客では「近鉄電車」(58.8%) が最も多い。また、「静岡県」からの宿泊客では「自家用車」(34.5%) が比較的多い。東海北陸自動車道の全線開通のためか「北陸」からの宿泊客では「自家用車」が過半数を占めている。また、「その他」の地域からの宿泊客では「航空機」(46.3%) が最も多い。

旅行形態別にみると、「幼児・小学生連れの家族」では「自家用車」(56.3%) が最も多い。

表 2-2-12 名古屋市外からの宿泊客の交通機関（居住地別・旅行形態別）

(単位：％)

交通機関		J R	名 鉄 電 車	近 鉄 電 車	自 家 用 車	航 空 機	路 線 バ ス	観 光 バ ス	そ の 他	合 計
地域・旅行形態										
地 域	東 海	45.2	15.8	13.6	25.3	1.4	2.3	0.0	0.5	104.1
	愛知県（名古屋市を除く）	33.3	38.6	0.0	29.8	1.8	1.8	0.0	1.8	107.1
	岐阜県	58.7	20.7	0.0	15.5	1.7	3.4	0.0	0.0	100.0
	三重県	21.6	0.0	58.8	21.6	0.0	3.9	0.0	0.0	105.9
	静岡県	65.5	1.8	0.0	34.5	1.8	0.0	0.0	0.0	103.6
	関 東	85.2	0.4	0.4	8.7	0.9	0.9	3.1	2.6	102.2
	近 畿	55.8	0.0	12.8	25.6	0.0	2.3	2.3	4.7	103.5
	北 陸	43.5	0.0	0.0	52.2	0.0	0.0	0.0	4.3	100.0
	甲信越	34.1	2.4	0.0	39.0	7.3	2.4	22.0	2.4	109.6
	その他	41.3	9.9	1.7	8.3	46.3	2.5	3.3	5.0	118.3
旅 行 形 態	ひとり	68.2	8.3	7.0	9.5	9.5	1.7	0.0	1.7	105.9
	友人・知人	55.5	6.7	8.8	17.6	5.9	2.5	2.9	2.5	102.4
	家 族									
	幼児・小学生連れ	37.5	3.1	0.0	56.3	6.3	0.0	0.0	0.0	103.2
	夫婦	56.0	7.7	2.2	27.5	11.0	2.2	2.2	0.0	108.8
	その他	58.8	7.4	2.9	27.9	5.9	0.0	7.4	1.5	111.8
	団体旅行	16.0	0.0	4.0	32.0	16.0	4.0	24.0	12.0	108.0
	その他	51.7	3.4	6.9	6.9	24.1	0.0	3.4	17.2	113.6
全 体		57.6	6.8	6.1	19.0	8.8	1.8	3.0	2.7	105.8

(複数回答)

⑥名古屋以外の訪問地

居住地が名古屋市外の宿泊客のうち、「名古屋市以外にも訪問する」という回答の割合は38.7%であった。その方たち（270人）の訪問地としては、「伊勢・志摩」（23.3%）、「知多・常滑・セントレア」（23.0%）、「明治村・犬山」（22.2%）が多く、以下「長島温泉・湯の山・鈴鹿」（18.5%）、「下呂・高山」（18.1%）、「豊田・岡崎・足助」（17.0%）、「長久手・モリコロパーク」（15.2%）、「岐阜・関ヶ原」（14.8%）、「多治見・恵那・中津川」（11.9%）が1割台で続いている。

表 2-2-13 名古屋市外からの宿泊客の名古屋市以外の訪問地

（単位：％）

訪 問 地	伊勢・志摩	知多・常滑・セントレア	明治村・犬山	長島温泉・湯の山・鈴鹿	下呂・高山	豊田・岡崎・足助	長久手・モリコロパーク	岐阜・関ヶ原	多治見・恵那・中津川	蒲郡・西浦・三谷	瀬戸・小原	豊橋・伊良湖	豊川・鳳来寺瀬戸・小原	その他
	23.3	23.0	22.2	18.5	18.1	17.0	15.2	14.8	11.9	7.8	7.4	6.7	4.4	11.9

（複数回答）

⑦旅行日程

居住地が名古屋市外の宿泊客のうち、旅行日程は、「2日」である割合が75.3%と最も多く、次いで「3日」が18.3%となっている。

居住地別にみると、「北陸」、「東海」からの宿泊客では「2日」の割合は9割近くを占めている。一方、「3日以上」の割合は、「その他」（49.6%）からの宿泊客では半数と多く、「甲信越」（27.5%）、「関東」（24.7%）からの宿泊客でも2割台みられる。

表 2-2-14 名古屋市外からの宿泊客の旅行日程

（単位：％）

日 程 地 域	2 日	3 日	4 日	5 日以上	合 計
東 海	86.2	10.3	1.0	2.5	100.0
関 東	75.3	22.6	1.7	0.4	100.0
近 畿	80.0	9.4	8.2	2.4	100.0
北 陸	87.0	13.0	0.0	0.0	100.0
甲信越	72.5	22.5	2.5	2.5	100.0
その他	50.4	30.6	8.3	10.7	100.0
全 体	75.3	18.3	3.3	3.1	100.0

⑧市内での宿泊日数

居住地が名古屋市外の宿泊客の名古屋市内での宿泊日数は、「1泊」が76.7%と多く、「2泊」が19.1%となっている。

居住地別にみると、「北陸」からの宿泊客では名古屋市内で「1泊」の割合が9割を超える。一方、名古屋市内で「2泊以上」する割合は、「その他」からの宿泊客では39.6%、「関東」、「近畿」、「甲信越」では22~23%となっている。

表 2-2-15 名古屋市外からの宿泊客の市内での宿泊日数

(単位：%)

地 域	市内宿泊数	1 泊	2 泊	3 泊	4 泊以上	合 計
東 海		83.7	12.8	2.0	1.5	100.0
関 東		76.8	19.7	3.5	0.0	100.0
近 畿		78.3	14.5	4.8	2.4	100.0
北 陸		91.3	8.7	0.0	0.0	100.0
甲信越		76.9	23.1	0.0	0.0	100.0
その他		60.4	32.2	4.1	3.3	100.0
全 体		76.7	19.1	2.9	1.3	100.0

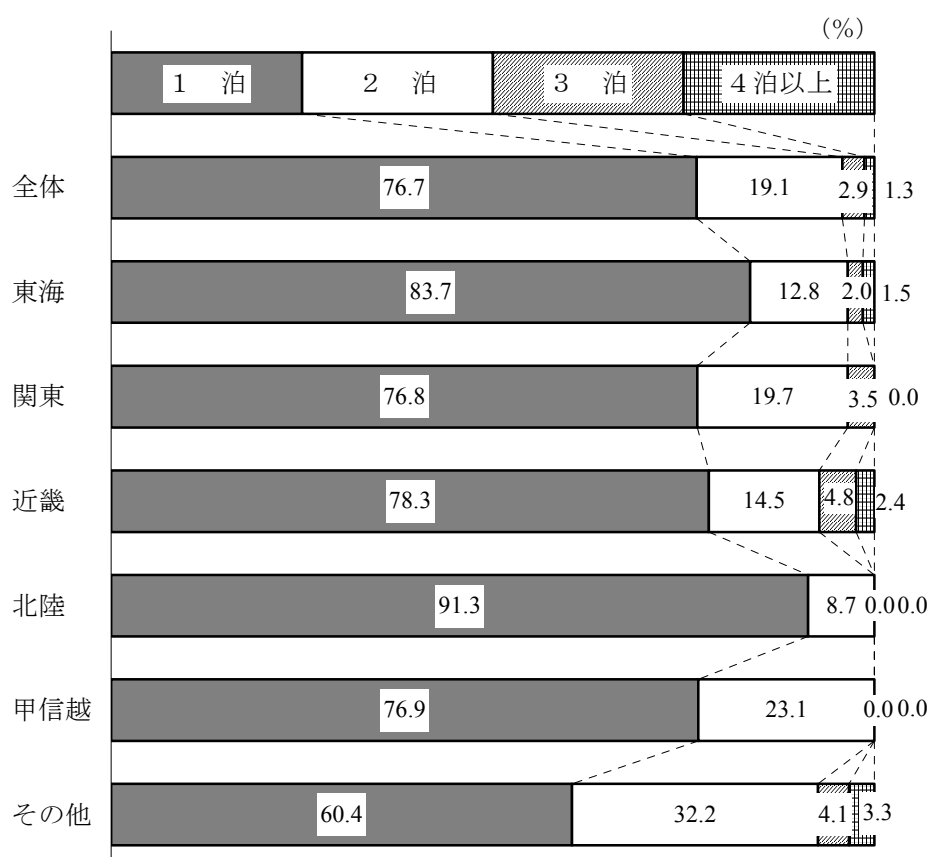


図 2-2-13 名古屋市外からの宿泊客の市内での宿泊日数

2－3 宿泊施設調査

(1) 調査の概要

①調査の目的

市内宿泊施設の概要ならびに宿泊者数を把握することにより、今後の本市観光推進のための基礎資料とすることを目的に、平成 20 年度における市内宿泊施設の現況を調査した。

②調査対象・方法

平成 19 年度調査により把握した市内宿泊施設から廃止した施設を除き、平成 20 年度新規開業した施設を加え、185 施設を今回の調査対象とした。

なお、旅館業法にもとづく許可施設のうち、簡易宿所、下宿営業の施設、風俗関連営業の施設や宿泊客を受け入れていない料理旅館などを除いたものを調査対象とした。

調査にあたっては、対象施設に対して調査票を郵送し、回収した上で電話による補足調査を行った。

③調査項目（巻末調査票参照）

- 施設のタイプ（ホテル、旅館、簡易宿所、下宿）
- タイプ別（和・洋室）の室数及び定員数
- 平成 20 年度の宿泊客数（実人数、延べ人数、外国人宿泊客を含む）
- 国別、宿泊客数
- 修学旅行団体の受入内容

④調査時期及び回答状況

- 調査時期：平成 21 年 5 月～6 月
- 回答状況：調査対象数 185 施設
有効回答数 181 施設
(全問回答 53 施設、準全問回答 47 施設、部分回答 81 施設)
廃休業数 4 施設（未開業 1 施設を含む）
新規開業数 3 施設

(2) 宿泊施設の現状

①回答状況及び集計方法

今回の調査対象とした185（平成20年度新規開業した3施設を含む）施設のうち、調査で廃休業などが判明した4施設を除く181施設を有効回答数とした。

有効回答数のうち、全問回答が得られたのは53施設（対有効回答数比29.3%）、準全問回答（宿泊者数の回答有り）が得られたのは47施設（対有効回答数比26.0%）、部分回答が得られたのは81施設（対有効回答数比44.7%）であった。

施設のタイプについては、以下の分類区分を基本とした。

- ・登録ホテル：国際観光ホテル整備法に基づく登録ホテル
- ・ホテル：洋室の収容人数もしくは室数のいずれかが全体の過半数を占める施設で、上記登録ホテルを除いた施設
- ・旅館：和室の収容人数並びに室数が全体の過半数を占める施設

また、ホテルについて、室数（規模）をもとに以下の区分を行った。

- ・ホテル：100室以上、50室以上100室未満、50室未満の3区分

表 2-3-1 回答状況（タイプ、規模別）

回答状況 施設規模		有効回答数				廃休業等 (施設)	新規開業 (施設)	対象施設数 (施設)
		計 (施設)	全問回答 (施設)	準全問回答 (施設)	部分回答 (施設)			
登録ホテル		20	11	8	1	0	(0)	20
ホテル (登録 ホテル を除く)	100室以上	63	18	20	25	1	(3)	64
	50室以上100室未満	28	6	8	14	0	(0)	28
	50室未満	20	5	3	12	0	(0)	20
	計	111	29	31	51	1	(3)	112
旅館		50	13	8	29	3	(0)	53
全 体		181	53	47	81	4	(3)	185
回収率：(%)		97.8	-	-	-	2.2	-	100.0
回答状況：(%)		100.0	29.3	26.0	44.7	0.0	(1.7)	-

注：新規開業は内数値のため、() となっている。

②施設の室数及び収容人数

今回の調査結果から得られた施設分類別の宿泊施設数、室数、収容人数は下表の通りである。

施設数では、登録ホテルが 20 施設、登録ホテルを除くホテルは 111 施設、旅館は 50 施設となっている。また、室数の合計は 21,495 室、収容人数の合計は 29,677 人で、昨年度調査時点より合計施設数では 1 施設の減少、部屋数では 805 室、収容人数では 1,211 人の増加となった。

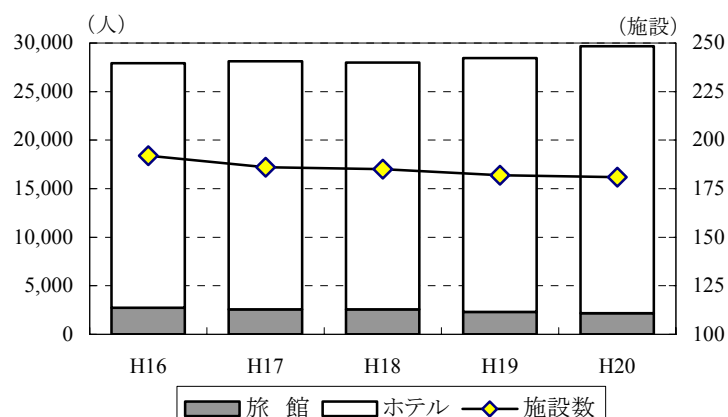
表 2-3-2 市内宿泊施設の規模別にみた室数及び収容人数（タイプ、規模別）

施設規模		回答数 (施設)	和 室		洋 室		合 計	
			室数 (室)	収容人数 (人)	室数 (室)	収容人数 (人)	室数 (室)	収容人数 (人)
登録ホテル		20	26	84	5,926	8,970	5,952	9,054
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	63	20	76	12,034	14,705	12,054	14,781
	50 室以上 100 室未満	28	28	97	2,093	2,658	2,121	2,755
	50 室未満	20	61	184	517	729	578	913
計		111	109	357	14,644	18,092	14,753	18,449
旅 館		50	691	2,021	99	153	790	2,174
全 体		181	826	2,462	20,669	27,215	21,495	29,677

表 2-3-3 市内宿泊施設の収容能力の推移

施設区分	平成 16 年度		平成 17 年度		平成 18 年度		平成 19 年度		平成 20 年度	
	室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数
登録ホテル	6,032	9,082	6,028	9,044	5,974	8,963	5,952	8,995	5,952	9,054
ホ テ ル	13,021	16,085	13,410	16,515	13,305	16,446	13,894	17,154	14,753	18,449
旅 館	1,021	2,750	951	2,560	945	2,568	844	2,317	790	2,174
全 体	20,074	27,917	20,389	28,119	20,224	27,977	20,690	28,466	21,495	29,677
施 設 数	192		186		185		182		181	

図 2-3-1 市内ホテル・旅館収容人数及び施設数推移



(3) 宿泊客数

①年間宿泊者数

ア：宿泊者数

平成 20 年度の全施設の年間総延べ宿泊者数は約 624 万人泊であった。

タイプ別にみると、登録ホテルが約 197 万人泊、ホテル（登録ホテルを除く）が約 405 万人泊、旅館が約 21 万人泊である。

また、全施設の年間総実人数は約 472 万人となっており、一人あたりの宿泊日数は約 1.3 日と推計される。

外国人宿泊者については、年間総延べ宿泊者数は約 63 万人泊、実人数は約 38 万人である。実人数を参照すると宿泊者の 8.0%が外国人で構成されており、一人あたりの宿泊日数は約 1.7 日と推計される。

また、外国人宿泊者の宿泊日数を施設別にみると、ホテル（登録ホテルを除く）が宿泊者一人あたりの宿泊数 2.5 泊と最も多く、次いで、旅館と登録ホテルが 1.4 泊となっている。

表 2-3-4 年間宿泊者数（推計値）

		全施設の年間 総延べ宿泊者数	うち全施設の 年間外国人 総延べ宿泊者数	全施設の 年間総実人数	うち全施設の 年間外国人 総実人数
		(人泊)	(人泊)	(人)	(人)
登録ホテル		1,970,106	403,872	1,505,161	284,475
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	3,353,221	211,253	2,504,856	82,660
	50 室以上 100 室未満	558,183	11,722	483,945	4,839
	50 室未満	143,009	2,288	92,956	1,580
	計	4,054,413	225,263	3,081,757	89,079
旅館		213,501	5,765	132,584	3,978
全 体		6,238,020	634,900	4,719,502	377,532

イ：宿泊者数の推移

宿泊者数の過去5年間の推移をみると、年間総実人数はこの5年間で最多であった昨年度から減少し、平成18年度を若干下回る値に、年間総延べ宿泊者数も平成18年度を若干下回る値となっている。

年間定員稼働率については、平成17年度から低下傾向にあり、昨年度より4ポイント減少している。

外国人宿泊者数については、総実人数はこの5年間で最多であった昨年度に比べると若干減少している。一方、総延べ宿泊者数は前3年間より減っており、外国人一人あたりの宿泊数は少なくなっている。

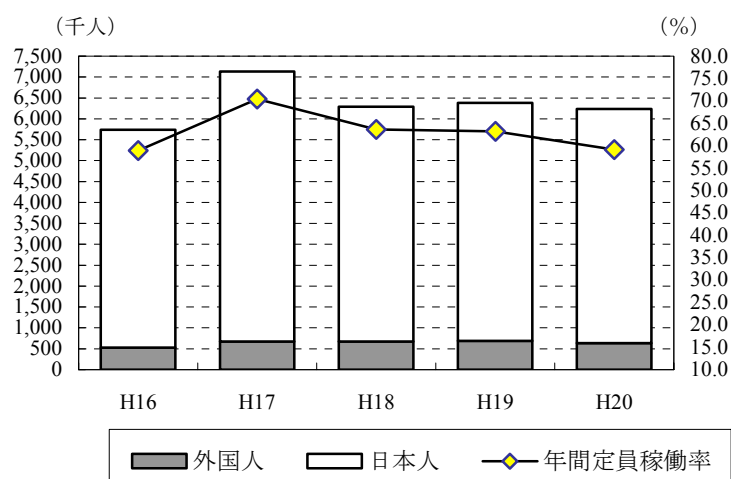
表 2-3-5 年間宿泊者数及び年間定員稼働率の推移（推計値）

年 度		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
区 分	年間総実人数（人）	4,651,625	4,472,967	4,752,837	4,845,349	4,719,502
	うち外国人	333,857	272,539	286,704	378,730	377,532
年間総延べ宿泊者数（人泊）	年間総延べ宿泊者数（人泊）	5,738,330	7,135,833	6,288,947	6,384,202	6,238,020
	うち外国人	528,769	671,905	675,238	688,805	634,900
年間定員稼働率（％）		58.9	70.4	63.6	63.2	59.1

注：年間定員稼働率とは、定員に占める宿泊者数の割合を示す。客室稼働率とは異なる。

年間定員稼働率＝年間延べ宿泊者数÷年間収容可能人数（表2-3-6参照）

図 2-3-2 市内延べ宿泊者数の推移



推計方法

宿泊者数の推計にあたっては、各施設から得られた回答結果を最大限に活かし、推計に必要な回答が得られている施設（回答あり施設）の内容をもとに、稼働率や比率などの算定基準となる数値を推計し、全施設の推計値を算出した。

また、年間の収容可能人数（最大収容容量）は、各施設の一日あたりの収容可能人数に、その施設の平成 20 年度の営業日数（通年営業施設は 365 日）を乗じて算出した。

なお、計や全体は、施設分類別推計値や規模別推計値の積み上げ値とした。

a. 全施設の年間総延べ宿泊者数（推計値）

ア：回答あり施設の年間延べ宿泊者数（実績値）及び年間定員稼働率

年間定員稼働率は、回答あり施設を対象として 59.1% の値を得た。区分別にみると、ホテル及び登録ホテルでは 6 割程度であるが、旅館では 26.9% とホテルより低い値となった。

なお、ここでの稼働率は、年間収容可能人数に対する宿泊者数であり、客室稼働率とは異なる。

表 2-3-6 回答あり施設の年間延べ宿泊者数の実績値及び年間定員稼働率

		回答数 (施設)	① 年間延べ 宿泊者数 (人泊)	② 回答あり施設 の 1 日収容可 能人数 (人)	③ 回答あり施設 の年間収容 可能人数 (人)	④ 年間定員 稼働率 (%)
登録ホテル		19	1,771,710	8,142	2,971,830	59.6
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	38	2,121,638	9,359	3,369,568	63.0
	50 室以上 100 室未満	14	295,646	1,459	532,535	55.5
	50 室未満	8	54,695	349	127,385	42.9
	計	60	2,471,979	11,167	4,029,488	61.3
旅館		21	90,966	926	337,990	26.9
全 体		100	4,334,655	20,235	7,339,308	59.1

注：③＝②×365 日（年度内の開館、閉館施設や休業分は営業日数に準じて算出）

④＝①÷③

イ：回答なし施設の年間延べ宿泊者数

回答なし施設の年間延べ宿泊者数については、回答なし施設の年間収容可能人数に、回答あり施設で求めた施設分類別・規模別の稼働率を乗じて推計値（1,903,365 人泊）を算出した。

表 2-3-7 回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答なし施設の1日収容 可能人数 (人)	② 回答なし施設の年間収容 可能人数 (人)	③ 回答あり施設 で求めた 稼働率 (%)	④ 回答なし施設の年間延べ 宿泊者数の推計値 (人泊)
登録ホテル		1	912	332,880	59.6	198,396
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	25	5,422	1,954,894	63.0	1,231,583
	50 室以上 100 室未満	14	1,296	473,040	55.5	262,537
	50 室未満	12	564	205,860	42.9	88,314
	計	51	7,282	2,633,794		1,582,434
旅 館		29	1,248	455,520	26.9	122,535
全 体		81	9,442	3,422,194		1,903,365

注：②＝①×365 日（年度内の開館、閉館施設や休業分は営業日数に準じて算出）

④＝②×③

年間延べ宿泊者数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

ウ：全施設の年間総延べ宿泊者数

全施設の年間総延べ宿泊者数は、前出のアの項で算出した回答あり施設の年間延べ宿泊者数の実績値に、イの項で算出した回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値を加算して求めた（6,238,020 人泊）。

表 2-3-8 全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値

		①回答あり施設		②回答なし施設		③全施設	
		回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答数 (施設)	年間総延べ 宿泊者数 (人泊)
登録ホテル		19	1,771,710	1	198,396	20	1,970,106
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	38	2,121,638	25	1,231,583	63	3,353,221
	50 室以上 100 室未満	14	295,646	14	262,537	28	558,183
	50 室未満	8	54,695	12	88,314	20	143,009
	計	60	2,471,979	51	1,582,434	111	4,054,413
旅 館		21	90,966	29	122,535	50	213,501
全 体		100	4,334,655	81	1,903,365	181	6,238,020

注：③＝①＋②

b. 全施設の年間総実人数（推計値）

全施設の年間総実人数の推計値は、年間の延べ宿泊者数及び実人数ともに回答が得られた施設をもとに、延べ宿泊者数に対する実人数の割合を求め、実人数比率とし、その数値を前出 a のウ（表 2-3-8）で求めた全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値に乗じて算出した（4,719,502 人）。

表 2-3-9 全施設の年間総実人数の推計値

		回答数	①	②	③	④	⑤
		(施設)	回答あり 施設の年間 実人数 (人)	回答あり 施設の年間 延べ宿泊者数 (人泊)	回答あり 施設の 実人数比率 (%)	全施設の 年間総延べ 宿泊者数 推計値 (人泊)	全施設の年間 総実人数 推計値 (人)
登録ホテル		11	873,375	1,142,809	76.4	1,970,106	1,505,161
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	18	778,362	1,042,664	74.7	3,353,221	2,504,856
	50 室以上 100 室未満	6	116,846	134,720	86.7	558,183	483,945
	50 室未満	5	24,271	37,356	65.0	143,009	92,956
	計	29	919,479	1,214,740		4,054,413	3,081,757
旅 館		13	33,516	53,969	62.1	213,501	132,584
全 体		53	1,826,370	2,411,518		6,238,020	4,719,502

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間総実人数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

c. 全施設の年間外国人の宿泊者数（推計値）

外国人の宿泊者数については、外国人及び外国人を含めた宿泊者数ともに回答が得られた施設をもとに割合を求め、全施設の宿泊者数の推計値に乗じて算出した。

ア：全施設の年間外国人総延べ宿泊者数（推計値）

全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値については、年間の延べ宿泊者数及び外国人延べ宿泊者数ともに回答が得られた施設をもとに、延べ宿泊者数に対する外国人延べ宿泊者数の割合を求め、外国人延べ宿泊者数比率とし、その数値を前出 a のウ（表 2-3-8）で求めた全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値に乗じて算出した。

表 2-3-10 全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値

		回答数	① 回答あり 施設の年間 外国人延べ 宿泊者数 (施設) (人泊)	② 回答あり 施設の 年間延べ 宿泊者数 (人泊)	③ 回答あり 施設の 外国人延べ 宿泊者数 比率 (%)	④ 全施設の 年間総延べ 宿泊者数 推計値 (人泊)	⑤ 全施設の 年間外国人 総延べ宿泊 者数推計値 (人泊)
登録ホテル		17	334,813	1,633,976	20.5	1,970,106	403,872
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	32	113,044	1,781,284	6.3	3,353,221	211,253
	50 室以上 100 室未満	8	3,543	168,243	2.1	558,183	11,722
	50 室未満	6	783	47,984	1.6	143,009	2,288
	計	46	117,370	1,997,511		4,054,413	225,263
旅 館		16	2,082	76,787	2.7	213,501	5,765
全 体		79	454,265	3,708,274		6,238,020	634,900

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

イ：全施設の年間外国人総実人数（推計値）

全施設の年間外国人総実人数の推計値については、年間の実人数及び外国人実人数ともに回答が得られた施設をもとに、実人数に対する外国人実人数の割合を求め、外国人実人数比率とし、その数値を前出 b で求めた全施設の年間総実人数の推計値（表 2-3-9）に乗じて算出した。

表 2-3-11 全施設の年間外国人総実人数の推計値

		回答数	① 回答あり 施設の年間 外国人 実人数 (施設) (人)	② 回答あり 施設の年間 実人数 (人)	③ 回答あり 施設の 外国人 実人数比率 (%)	④ 全施設の 年間 総実人数 推計値 (人)	⑤ 全施設の 年間外国人 総実人数 推計値 (人)
登録ホテル		11	165,300	873,375	18.9	1,505,161	284,475
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	16	22,685	680,530	3.3	2,504,856	82,660
	50 室以上 100 室未満	4	658	65,310	1.0	483,945	4,839
	50 室未満	5	410	24,271	1.7	92,956	1,580
	計	25	23,753	770,111		3,081,757	89,079
旅 館		11	968	32,698	3.0	132,584	3,978
全 体		47	190,021	1,676,184		4,719,502	377,532

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間外国人総実人数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

②国別外国人宿泊数

国別に外国人宿泊者数の回答が得られた施設は 84 施設で、そのうち外国人の宿泊があった施設は 74 施設であり、その割合は 88.1%であった。なお、外国人の宿泊が無かったのは、旅館が 9 施設、ホテル（登録ホテルを除く）が 1 施設であった。

国別の外国人宿泊者数をみると、台湾が全体の 25.9%（75,673 人）と最も多く、次いで中国が 18.5%（54,242 人）、韓国 14.3%（41,997 人）と近隣の国が上位を占めている。以下、米国 14.0%（40,888 人）、タイ 11.0%（32,341 人）、香港 8.2%（24,064 人）、ドイツ 2.0%（5,821 人）、シンガポール 1.7%（5,127 人）と続いている。

施設分類別にみると、登録ホテルでは上位の国別宿泊数は比較的分散しているが、ホテル（登録ホテルを除く）では台湾と中国で約 7 割を占めている。

表 2-3-12 国別、外国人宿泊者数

	登録 ホテル	ホテル（登録ホテルを除く）				旅 館	全 体	
		100室 以上	50室以上 100室 未満	50室未満	計		人数 (人)	割合 (%)
回答数（施設）	19	31	9	7	47	18	84	
中国	30,275	22,291	1,421	77	23,789	178	54,242	18.5
香港	20,662	3,173	190	4	3,367	35	24,064	8.2
台湾	47,259	28,033	273	5	28,311	103	75,673	25.9
韓国	32,069	9,238	325	57	9,620	308	41,997	14.3
米国	36,551	3,490	578	58	4,126	211	40,888	14.0
タイ	29,390	2,856	65	7	2,928	23	32,341	11.0
ドイツ	5,142	512	32	13	557	122	5,821	2.0
シンガポール	4,384	697	32	2	731	12	5,127	1.7
英国	2,940	600	124	6	730	85	3,755	1.3
フランス	2,554	657	62	14	733	193	3,480	1.2
オーストラリア	2,569	448	76	18	542	266	3,377	1.2
カナダ	1,425	299	33	10	342	75	1,842	0.6
インドネシア	-	2	252	-	254	5	259	0.1
ブラジル	4	99	1	7	107	2	113	0.0
ロシア	-	103	-	-	103	9	112	0.0
スペイン	10	34	2	8	44	30	84	0.0
フィンランド	9	61	-	9	70	-	79	0.0
マレーシア	-	50	18	5	73	-	73	0.0
オランダ	-	25	2	-	27	25	52	0.0
ニュージーランド	-	19	2	1	22	20	42	0.0
スイス	-	7	2	6	15	26	41	0.0
スウェーデン	-	-	20	4	24	12	36	0.0
インド	-	26	1	-	27	-	27	0.0
イタリア	-	23	-	1	24	-	24	0.0
フィリピン	-	15	2	-	17	-	17	0.0
ポーランド	-	-	-	-	-	16	16	0.0
ベルギー	-	12	-	-	12	-	12	0.0
メキシコ	12	-	-	-	-	-	12	0.0
ノルウェー	-	-	11	-	11	-	11	0.0
ポルトガル	-	5	-	-	5	-	5	0.0
ベトナム	-	2	-	-	2	2	4	0.0
カンボジア	-	3	-	-	3	-	3	0.0
ミャンマー	-	3	-	-	3	-	3	0.0
ネパール	-	-	-	-	-	3	3	0.0
アイルランド	-	-	-	3	3	-	3	0.0
ラオス	-	2	-	-	2	-	2	0.0
モンゴル	-	-	2	-	2	-	2	0.0
パキスタン	-	-	-	1	1	-	1	0.0
チェコ	-	-	-	1	1	-	1	0.0
エストニア	-	-	-	1	1	-	1	0.0
クロアチア	-	-	-	1	1	-	1	0.0
アルゼンチン	-	-	-	1	1	-	1	0.0
合 計	215,255	72,785	3,526	320	76,631	1,761	293,647	100.0

③修学旅行団体の受入状況

ア：修学旅行学校数及び宿泊者数

平成 20 年度に修学旅行を受け入れた宿泊施設は 12 施設（対有効回答 181 施設比 6.6%）で、昨年度と同数となっている。学校数は 60 校、宿泊者数は 4,432 人であり、昨年度（59 校、5,165 人）に比べ、学校数は 1 校増加しているものの、宿泊者数は 733 人減少している。

学校分類別では、中学校とその他は昨年度に比べ、学校数、宿泊者数ともに増加している。一方、小学校と高校は昨年度に比べ、学校数、宿泊者数ともに減少している。

表 2-3-13 修学旅行団体の受入実績

		修学旅行 受入施設数 (施設)	① 学校数 (校)	② 宿泊者数 (人)	③ 1 校あたり修学 旅行宿泊者数 (人)
登録ホテル		4	21	2,416	115
ホテル (登録ホテルを除く)	100 室以上	4	8	868	109
	50 室以上 100 室未満	0	0	0	0
	50 室未満	0	0	0	0
	計	4	8	868	109
旅館		4	31	1,148	37
全 体		12	60	4,432	74

注：③＝②÷①

表 2-3-14 修学旅行団体の受入実績（年度推移）

年度 区分	16 年度		17 年度		18 年度		19 年度		20 年度	
	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数
小学校	21	1,096	41	2,072	26	1,464	25	1,411	21	1,081
中学校	7	595	36	3,733	6	371	9	696	12	939
高 校	4	303	31	2,886	16	1,028	14	2,053	8	730
その他	16	2,874	27	3,165	25	3,106	11	1,005	19	1,682
全 体	48	4,868	135	11,856	73	5,969	59	5,165	60	4,432

イ：地域別の受入学校数

下表は、修学旅行団体の受入学校数を地域別・学校分類別に整理したものである。

合計では 60 校中 18 校 (30.0%) が近畿地域から、16 校 (26.7%) が関東・甲信越地域からの修学旅行団体であり、東海・北陸地域は 15 校 (25.0%) であった。昨年度と比較すると、関東・甲信越地域が 6 校増加し、東海・北陸地域と中国・四国地域がそれぞれ 2 校、近畿地域が 1 校減少している。また、海外からは昨年度と同じく 3 校であり、中国が 2 校、オーストラリアが 1 校となっている。

学校分類別では、小学校 (21 校、35.0%) が最も多く、次いでその他 (19 校、31.7%) である。以下、中学校 (12 校、20.0%)、高校 (8 校、13.3%) となっている。

表 2-3-15 施設別、地域別修学旅行団体受入状況

施設区分	回答状況	地域 (施設)	計 (校)	小学校 (校)	中学校 (校)	高校 (校)	その他 (校)
登録ホテル		北海道・東北	1		1		
		関東・甲信越	7	2	1		4
		東海・北陸	7	2	4	1	
		近畿	2	2			
		中国・四国	0				
		九州・沖縄	3			3	
		海外	1			1	
ホテル(登録ホテルを含まず)		北海道・東北	1			1	
		関東・甲信越	2		2		
		東海・北陸	2		1	1	
		近畿	0				
		中国・四国	1			1	
		九州・沖縄	0				
		海外	2		2		
旅館		北海道・東北	0				
		関東・甲信越	7		1		6
		東海・北陸	6	1			5
		近畿	16	14			2
		中国・四国	1				1
		九州・沖縄	1				1
		海外	0				
全 体		北海道・東北	2	0	1	1	0
		関東・甲信越	16	2	4	0	10
		東海・北陸	15	3	5	2	5
		近畿	18	16	0	0	2
		中国・四国	2	0	0	1	1
		九州・沖縄	4	0	0	3	1
		海外	3	0	2	1	0
		計	60	21	12	8	19

表 2-3-16 地域別修学旅行団体受入状況

	小学校		中学校		高等学校		その他		計	
	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員
北海道			1	243	1	150			2	393
青森県										
秋田県										
岩手県										
山形県										
宮城県										
福島県										
東京都			1	80			7	1,392	8	1,472
神奈川県							2	43	2	43
千葉県			1	74			1	80	2	154
埼玉県										
群馬県										
栃木県										
茨城県										
新潟県			1	31					1	31
長野県	1	70	1	27					2	97
山梨県	1	120							1	120
愛知県	1	50							1	50
岐阜県	1	19	4	164			1	11	6	194
三重県										
静岡県	1	87			1	41	3	31	5	159
福井県							1	8	1	8
石川県										
富山県			1	200	1	30			2	230
滋賀県										
京都府	16	735					1	27	17	762
大阪府										
奈良県							1	26	1	26
和歌山県										
兵庫県										
鳥取県					1	257			1	257
島根県										
岡山県							1	18	1	18
広島県										
山口県										
香川県										
徳島県										
愛媛県										
高知県										
福岡県					2	160	1	46	3	206
大分県										
宮崎県										
熊本県					1	42			1	42
佐賀県										
長崎県										
鹿児島県										
沖縄県										
中国			2	120					2	120
オーストラリア					1	50			1	50
合 計	21	1,081	12	939	8	730	19	1,682	60	4,432

3. 資料編

(1) 主要観光施設への入込動向

①名古屋市内在主要観光施設への観光入込客数の推移

平成 20 年度における名古屋市内在主要観光施設（30 施設）への入込客数は合計で約 2,088 万人であり、平成 19 年度と比較すると施設数は 1 施設、入込客数は約 210 万人（9.1%）それぞれ減少した。

観光入込客数を施設別にみると、熱田神宮が約 642 万人と最も多く、次いで東山動植物園（約 220 万人）、名古屋港水族館（約 191 万人）、名古屋城（約 125 万人）、農業文化園・戸田川緑地（約 94 万人）となっている。

施設別に昨年度の入込客数と比較すると、新たな設備・店舗を開設し、企画展の期間も長くした農業文化園・戸田川緑地、企画展が好評だった名古屋市美術館と名古屋ボストン美術館、有松開村 400 年の有松・鳴海校会館などの施設で入込客数の増加を示している。

一方、平成 19 年 3 月に開館したスカイプロムナード、昨年度周年事業を行った名古屋市博物館や東山動植物園、また、イタリア村閉鎖の影響がある名古屋港水族館や名古屋港などにおいて入込客は減少している。

②名古屋市内在主要観光施設の月別観光入込客数

主要観光施設の月別入込客数を表 3-1-2 に示す。

熱田神宮は、初詣客を中心に「1 月」の入込客が圧倒的に多く、熱田まつりが開催される 6 月も入込客は多い。

花見の名所である名古屋城、東谷山フルーツパーク、名古屋市農業センターなどは 3 月～4 月の入込客が多い。また名古屋城は宵まつりが開催される 8 月も入込客は多い。

名古屋港水族館、シートレインランド、名古屋市科学館などは子どもが夏休みの 8 月に入込客が多い。

有松・鳴海校会館は、絞りまつりが開催される 6 月に入込客が多い。

東山動植物園、農業文化園・戸田川緑地、ブルーボネットなど屋外の施設は全般に 5 月、10 月の行楽シーズンを中心に入込客が多く、東山動植物園は特に 4～5 月の入込客が多い。

美術館や博物館の入込客数のピークはまちまちで、時期ではなく特別展など展示内容によって入込客数は変動している。

表 3-1-1 入込客数の推移

(単位：人)

施設 \ 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
名古屋城	994,994	1,984,187	1,096,137	1,196,500	1,246,279
東山動植物園	1,735,184	1,650,336	2,020,314	2,319,341	2,201,822
東山スカイタワー	231,048	224,951	259,886	289,767	298,801
テレビ塔	181,497	194,463	323,818	293,251	285,681
熱田神宮	6,465,460	6,547,860	6,235,956	6,512,112	6,417,500
名古屋港	203,434	202,177	195,639	643,632	586,788
名鉄海上観光船	36,939	34,133	25,117	-	-
名古屋空港	433,411	-	-	-	-
名古屋市科学館	615,425	486,104	614,577	618,956	607,864
徳川美術館	241,912	420,582	251,863	219,494	239,506
名古屋市博物館	448,195	568,581	363,271	538,476	448,153
東谷山フルーツパーク	511,899	459,031	547,717	568,804	570,675
農業文化園・戸田川緑地	658,225	642,757	712,288	691,262	938,998
でんきの科学館	492,856	333,893	348,158	353,727	360,082
名古屋市美術館	196,020	196,062	347,052	374,303	474,264
名古屋港水族館	1,759,536	1,663,186	1,927,274	2,116,681	1,907,127
産業技術記念館	150,921	303,312	230,618	263,854	270,121
白鳥庭園	79,848	76,196	82,966	91,713	93,289
市政資料館	59,274	67,749	59,240	60,143	73,362
名古屋能楽堂	127,470	135,297	163,455	186,408	194,109
愛知県美術館	629,283	1,222,438	761,088	803,967	682,896
名古屋市農業センター	713,839	669,831	622,769	612,259	630,033
シートレインランド	728,142	600,388	707,572	731,388	690,717
有松・鳴海絞会館	191,996	189,908	185,820	179,689	213,812
ランの館	133,473	117,999	128,193	131,262	144,427
名古屋ボストン美術館	242,916	209,599	237,245	175,661	238,153
パノラマハウス	391,754	309,246	-	-	-
ノリタケの森	421,515	533,830	410,558	413,566	398,606
ブルーボネット	117,892	95,941	93,831	77,968	74,364
徳川園	221,601	399,865	254,727	249,227	256,921
文化のみち二葉館	20,565	56,550	35,436	35,792	33,716
イタリア村	-	4,352,600	1,690,100	1,272,200	66,500
ロボットミュージアム	-	-	422,173	333,508	-
スカイプロムナード	-	-	160,000	630,000	240,000
小 計	19,436,524	24,949,052	21,514,858	22,984,911	20,884,566
万博ささしまサテライト事業	-	3,519,700	-	-	-
全 体	19,436,524	28,468,752	21,514,858	22,984,911	20,884,566

注 1：徳川園は平成 16 年 11 月、文化のみち二葉館は平成 17 年 2 月、イタリア村は平成 17 年 4 月、ロボットミュージアムは平成 18 年 10 月、スカイプロムナードは平成 19 年 3 月にそれぞれ開館した。

注 2：名古屋港は、ポートビル展望室、名古屋海洋博物館、南極観測船ふじの入場者の合計数。名古屋空港の展望デッキは平成 17 年 2 月、パノラマハウスは平成 17 年 10 月、名鉄海上観光船は平成 18 年 11 月、ロボットミュージアムは平成 19 年 9 月、イタリア村は平成 20 年 5 月にそれぞれ閉館した。

注 3：万博ささしまサテライト事業は愛・地球博（愛知万博）の関連イベントとして平成 17 年 3 月 18 日～9 月 25 日の間開催された。（全て平成 17 年度入込客数とした）

表 3-1-2 施設別・月別入込客数

(単位：人)

施設	年月	平成 20 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
名古屋城		161,882	125,734	73,553	76,375	167,994	88,866	110,379	122,609
東山動植物園		308,435	314,097	164,259	67,727	137,907	169,913	279,230	238,243
東山スカイタワー		37,806	36,631	23,415	12,480	27,728	21,707	29,297	32,412
テレビ塔		21,880	29,529	19,113	21,044	33,655	22,874	21,026	27,221
熱田神宮		167,792	206,790	321,840	158,160	145,860	139,980	184,230	309,660
名古屋港		52,655	79,020	37,620	51,850	96,742	38,012	57,996	51,338
名古屋市科学館		53,269	78,371	61,755	51,831	118,995	28,920	41,725	36,625
徳川美術館		17,421	22,724	16,357	15,836	22,718	15,471	26,224	29,104
名古屋市博物館		53,179	54,393	34,553	25,568	19,323	22,751	36,503	92,981
東谷山フルーツパーク		155,499	72,950	23,169	16,934	27,689	31,683	89,842	32,185
農業文化園・戸田川緑地		82,887	184,814	59,820	68,046	74,810	78,031	106,371	73,835
でんきの科学館		26,896	33,120	20,151	29,167	57,329	20,449	23,102	22,303
名古屋市美術館		35,605	83,306	8,466	5,798	9,943	7,731	21,046	55,582
名古屋港水族館		146,157	238,587	136,647	184,031	388,863	137,899	142,948	123,980
産業技術記念館		23,098	24,355	25,314	24,342	32,275	20,105	30,360	32,646
白鳥庭園		9,420	13,214	4,524	2,468	3,073	6,205	7,398	17,611
市政資料館		5,349	5,606	4,870	4,465	4,899	7,415	7,044	9,430
名古屋能楽堂		9,395	12,913	14,283	17,070	14,286	16,426	20,745	25,740
愛知県美術館		47,893	57,384	43,724	53,092	46,730	42,008	42,595	40,273
名古屋市農業センター		47,680	42,276	25,828	23,610	27,302	28,825	40,733	61,741
シートレインランド		53,986	66,325	48,682	67,563	111,678	54,081	49,086	53,186
有松・鳴海絞会館		7,287	10,354	127,801	8,582	6,930	8,221	11,748	9,515
ランの館		9,175	17,390	9,308	9,358	10,017	7,211	25,238	11,687
名古屋ボストン美術館		17,067	43,131	29,580	32,308	46,416	51,895	3,160	7,536
ノリタケの森		30,309	40,152	31,866	29,981	35,580	35,306	39,784	46,703
ブルーボネット		14,052	18,001	6,476	3,870	2,928	5,050	9,503	7,023
徳川園		37,713	22,908	15,031	12,069	17,638	16,012	22,711	34,882
イタリア村		66,500	0	-	-	-	-	-	-
文化のみち二葉館		2,969	3,653	2,474	1,798	1,746	2,424	4,185	3,995
スカイプロムナード		20,000	20,000	20,000	20,000	30,000	20,000	20,000	20,000
全 体		1,723,256	1,957,728	1,410,479	1,095,423	1,721,054	1,145,471	1,504,209	1,630,046

◆調査対象施設の選定について

名古屋市では、平成 8 年 3 月に社団法人日本観光協会が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象施設を選定しており、平成 16 年度に 2 施設（徳川園、文化のみち二葉館）を加え、平成 17 年度には、1 施設（名古屋空港）を除き、1 施設（イタリア村）を加え、平成 18 年度に 1 施設（パノラマハウス）を除き、2 施設（ロボットミュージアム、スカイプロムナード）を加え、平成 19 年度に 1 施設（名古屋海上観光船）を除き、平成 20 年度には、1 施設（ロボットミュージアム）を除いた 30 施設を調査対象とした。

平成 17 年度には万博さしまサテライト事業も調査対象とした。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が 5 万人以上である市内観光施設を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間 5 万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

(単位：人)

施設	年月	平成 20 年 12 月	平成 21 年 1 月	2 月	3 月	合計	備 考
名古屋城		53,681	65,600	71,174	128,432	1,246,279	
東山動植物園		83,526	95,063	124,496	218,926	2,201,822	
東山スカイタワー		16,126	15,906	16,821	28,472	298,801	
テレビ塔		26,700	21,299	17,321	24,019	285,681	
熱田神宮		148,095	4,263,918	198,330	172,845	6,417,500	
名古屋港		27,150	26,843	25,763	41,799	586,788	
名古屋市科学館		26,184	34,851	37,327	38,011	607,864	
徳川美術館		6,218	9,462	25,267	32,704	239,506	
名古屋市博物館		20,710	30,270	38,834	19,088	448,153	
東谷山フルーツパーク		11,273	14,336	41,731	53,384	570,675	
農業文化園・戸田川緑地		31,894	37,219	54,425	86,846	938,998	
でんきの科学館		15,687	17,835	61,968	32,075	360,082	
名古屋市美術館		49,854	126,573	61,115	9,245	474,264	
名古屋港水族館		87,134	95,903	86,683	138,295	1,907,127	
産業技術記念館		13,577	11,246	14,639	18,164	270,121	
白鳥庭園		5,893	7,576	6,650	9,257	93,289	
市政資料館		4,885	4,023	5,607	9,769	73,362	
名古屋能楽堂		15,744	18,523	12,631	16,353	194,109	
愛知県美術館		39,490	84,760	133,683	51,264	682,896	
名古屋市農業センター		19,808	19,397	91,926	200,907	630,033	
シートレインランド		53,590	42,662	36,545	53,333	690,717	
有松・鳴海絞会館		4,797	5,301	5,714	7,562	213,812	
ランの館		20,243	8,097	8,286	8,417	144,427	
名古屋ボストン美術館		7,060	0	0	0	238,153	平成 20 年 12 月 22 日から休館
ノリタケの森		24,868	21,761	28,456	33,840	398,606	
ブルーボネット		1,523	0	0	5,938	74,364	平成 21 年 1 月・2 月は休園
徳川園		9,192	15,661	22,330	30,774	256,921	
イタリア村		-	-	-	-	66,500	
文化のみち二葉館		1,611	1,795	3,605	3,461	33,716	
スカイプロムナード		30,000	20,000	10,000	10,000	240,000	
全 体		856,513	5,115,880	1,241,327	1,483,180	20,884,566	

注：名古屋ボストン美術館は平成 21 年 12 月 22 日から 4 月 17 日まで 開館 10 周年記念事業の準備のため休館した。

（２）名古屋のまちの印象（自由回答より）

観光入込客、宿泊客に名古屋のまちの印象を尋ねたところ、次のような意見があげられました。

良い印象

【観光施設・観光スポット】

- ・名古屋の施設はとても充実していて素晴らしい。（女性 60代）
- ・たくさん遊べるスポットがあつていい。（女性 10代）
- ・とてもきれいな街で、観光名所も多く、満足しました。（女性 20代）
- ・施設名所が多くてとてもいいです。（女性 50代）
- ・整備された街並みで、夜景がきれいでした。食べ物もおいしく、観光する場所もけっこうあつて楽しめました。また来たいと思います。（女性 30代）
- ・信長、秀吉などにまつわる歴史がよく残っている。（男性 20代）
- ・歴史的に興味がある街。（男性 10代）
- ・文化施設が充実している。（女性 60代）
- ・文化財がいっぱいあつていい。（男性 30代）
- ・おいしいものが多い。産業史跡を大切にしている。（男性 40代）
- ・駅近くに訪れる場所がたくさんある。（女性 20代）
- ・ご当地メニューが多くて毎食が楽しい。大体の観光名所が近めでよい。（男性 20代）
- ・観光しやすい。観光に対して力を入れている。（男性 20代）
- ・名古屋城に来ることは、回を加える都度に大切にしてほしいと思います。この歴史的遺産は次世代に大切に引き継いでほしいと思います。大切にしてください。（男性 70歳以上）
- ・シャチホコ最高です。（女性 20代）
- ・名古屋グルメは個性的だ。シャチホコが光って見える。（男性 20代）
- ・空気がきれい。清々しい感じの町。お城の案内が充実（3Dとか）していた。（女性 50代）
- ・道路幅が広くきれいでした。駐輪が多いのと、夜の飲食街の道に駐車が多いのに驚きました。有名なひつまぶしをおいしく賞味しました。お城のライトアップが良かった。旅行者に皆さん親切でした。（女性 70歳以上）
- ・ホテルから見た名古屋城がとても素晴らしく、感動しました。きしめん、味噌カツ等、とてもおいしかったです。街もきれいです。ドラゴンズファンなので、次回はぜひナゴヤドームへ行きたいと思います。（女性 50代）
- ・名城公園がきれいです。（女性 30代）
- ・美術館では「さすが徳川家」と思いました。ひつまぶしも味噌カツもおいしかったです、味が濃かったです。名鉄、JR、バス、タクシーに乗りました。乗務員の方は皆、親切でした。（女性 50代）
- ・いいです。緑が多い。きれい。美術館も整備されている。イベントもある。（女性 50代）
- ・東山公園が思っていたより広く、動物も多くて驚いた。名古屋港水族館はメインプールの設備が充実していて、すごいと思った。（女性 40代）
- ・歴史があつて設備がよい。名古屋港の周りもよい。（男性 60代）
- ・道路が広い。水族館がよかった。（男性 20代）
- ・博物館しか行っていないが、どこも情緒がある。（男性 20代）
- ・駅前のビル群が高くて素敵です。（男性 40代）
- ・ミッドランドがすごかった。（女性 40代）
- ・ツインタワーが大きい。（男性 10代）
- ・落ち着きがある雰囲気。久屋大通はすごいと思う。（男性 20代）

【名古屋まつりなど行・催事、イベント】

- ・ オープンカーのパレードはよかった。(男性 30代)
- ・ 歴史の祭りがよいです。(女性 20代)
- ・ 昔からよく見せてもらっています。これからも続けてほしい。(女性 70歳以上)
- ・ 名古屋まつりがおもしろかった。味噌カツがおいしかった。(男性 20代)
- ・ お祭りが多くて楽しい。(男性 40代)
- ・ 名古屋まつりは素晴らしい祭りなので、また来たいと思います。(女性 50代)
- ・ 名古屋まつりの時に名古屋城に入場できるのでうれしいです。(女性 30代)
- ・ イベントが名古屋らしくてよい。(女性 10代)
- ・ 大須のおまつりと名古屋まつりが同じ日にあるので、盛り上がっていると思います。(女性 10代)
- ・ いろいろとイベントがあり、楽しめてよいと思う。新しい名古屋グルメに期待。(男性 30代)
- ・ いろいろなイベントがあり楽しい街。大きなビルができて、ショッピングも楽しい。(女性 30代)
- ・ ウォーキングとかたくさんあって、行く途中、愛知県民のなんとかとかあって、とても豊かだと思った。やはり名古屋は周りが自然や温かい人に囲まれて、設備も整っているので一人のランニングでも楽しいと思った。(男性 10代)

【風景、景観】

- ・ 緑が多くて環境がいい。(女性 60代)
- ・ 緑が多くていい。公園が多い。(男性 50代)
- ・ 緑が多く道路も広くきれいです。(女性 60代)
- ・ 街中でも緑が多いのが気持ちいい。(男性 70歳以上)
- ・ 暑い。きれいな町並み。自然がたくさんありました。(女性 20代)
- ・ 道がよい。交通の便がいい。自然が残っている、木が多い。(男性 60代)
- ・ 名古屋は活力のある美しい町。緑が多く風格が出てきました。(男性 70歳以上)
- ・ 夜、名古屋駅に着いたので、駅前のイルミネーションがとてもきれいだったのでびっくりしました。人がたくさんいたので、それもびっくり。名古屋グルメで味噌カツを食べたけど、おいしかったです。(女性 40代)
- ・ 夜の街並みをバスで通りましたが、ツリーのイルミネーションがとてもきれいでした。(女性 40代)
- ・ クリスマス前ということもあり、駅前やデパートのイルミネーションがとてもきれいだった。道路も整備されており、交通の便も良いと思う。ショッピング、グルメ街も充実している。(女性 40代)
- ・ 名古屋駅前に高いビルがいくつもあってびっくりしました。ツインタワーのイルミネーションがきれいでした。(女性 30代)
- ・ クリスマスイルミネーションがきれいでした。(男性 20代)
- ・ 名古屋駅からのイルミネーション、夜景がすごくきれいで感動しました。また来たいです。(女性 20代)
- ・ 駅前のライトアップが印象に残った。地下道が多い。ホテルの形が珍しいものがあると思った。(女性 50代)
- ・ 駅前のライトアップを初めて見ました。単なるライトアップではなく、テーマを持たせたものであったので、どの人にも楽しめると思う。(女性 30代)
- ・ 手羽先がとてもおいしかった。東京でも食べたいと思うぐらいやみつきになった。施設の案内表示も駅の案内に必ず書いてあったのでわかりやすかった。テレビ塔の展望台からみた夜景がとてもきれいだった。ホテルも清潔でホテルの方も親切だった。(女性 20代)

- ・ 夜景がきれい。来年も遊びに来たい、そういう街に。(男性 10 代)
- ・ 高層ビルが少なくて景観が良い。(女性 20 代)
- ・ きれいで広い町並みが好印象でした。(男性 20 代)
- ・ 名古屋駅の周りはとてもきれいです。ぜひこれからも今のような街並みを維持してください。(男性 20 代)
- ・ 町並に椿の花が咲き、とてもきれいでした。観光施設での案内や説明が親切で詳しく、うれしい気持ちになりました。またもう一度名古屋へ来てみたいと思います。(女性 60 代)

【歴史との融合】

- ・ 街がきれい。また古い家屋もある。(男性 70 歳以上)
- ・ 歴史が感じられる町並みです。(男性 20 代)
- ・ レトロな感じがする。(女性 30 代)
- ・ 昔を大切に作る町。(女性 20 代)
- ・ 古くていい町。のんびりしている。(女性 60 代)
- ・ 新しいところと伝統があるところが上手にアピールできている。(男性 30 代)
- ・ 新しい中にも古い建物がきれいに保存されていてよい。街がきれい。(女性 30 代)
- ・ 歴史の重さ(歴史的なものと古いもの)を感じる。(男性 70 歳以上)
- ・ 大都会のわりには歴史的なものが身近に数多くある。(女性 50 代)
- ・ 地下道のライトアップがきれい。一方通行がわかりやすかった。名古屋グルメは味が濃い目で全体的に甘い。特に民家の瓦屋根は素敵です。古民家の町並み、住宅街もとてもよいと思います。(女性 20 代)

【町の雰囲気、住みやすさ、発展性】

- ・ 住みやすい。良い意味で大都会になりきれないところが、大好きです。(女性 30 代)
- ・ 住みやすい。人が多すぎず、ちょうどいい町。(女性 60 代)
- ・ 住みやすい。治安も良いと思う。大きすぎず、小さすぎず良い街。(女性 60 代)
- ・ 都会でありながら、住みやすい。(男性 50 代)
- ・ 落ち着いた雰囲気がする。暮らしやすい。(女性 70 歳以上)
- ・ 住むにはたいへん便利で交通も便利だと思います。(男性 40 代)
- ・ 街並みがきれいで暮らしやすそう。地下鉄の利便性が高い。おいしいものが多い。(女性 20 代)
- ・ セントレアも近く便利でまたショッピングにも便利で、住んでみたい街です。ノリタケの森、徳川園などの知名度がもっとあってもよいと思います。(男性 40 代)
- ・ とても美しく、皆さんも親切で温かみがあり、過ごしやすい素敵なおところだと思いました。地下鉄などをとても安く利用できたので(一日OKの切符など)、あちこち回りたいと思っています。(女性 50 代)
- ・ 万博の時から明るい元気な町になった。(女性 40 代)
- ・ 交通の便がいいところ。道路が広い。人と町に活気がある。(男性 50 代)
- ・ 年々新しい建物が増え、街が活気づいているように思います。今までに観光名所もほとんど回り、他に楽しめる場所を探していましたが、これからの名古屋とその周辺の活性化が楽しみです。(女性 20 代)
- ・ たいへんにぎやかでびっくりしました。長野県から来ましたが、ビルの谷間で別世界へ来たようです。(男性 70 歳以上)
- ・ 新宿に負けないぐらい人が多く、にぎわっていると思いました。今回、行かれない所もたくさんあったので、次回また訪れてみたいと思います。(女性 30 代)
- ・ 名古屋駅周辺は不況を感じさせないにぎわいで驚きました。(男性 70 歳以上)

- ・名古屋駅周辺の建物のにぎわいに驚きました。イルミネーションに感動しました。いろいろな所に行ってみてみたいと思いますが、次回は楽しみにまいります。料理もおいしくいただきました。(女性 50代)
- ・地下のにぎわいにおどろきました。(女性 20代)
- ・公共交通の利便性はとても良い。金山は若者の街で活気がありとても良いと思う。金山はお土産売場の品物が少ないと思う。(女性 40代)
- ・「トヨタが不況」と聞いていましたが、街は活気があり元気だったのでよかったです。名古屋は独自の文化があります。これからも応援しています。(女性 40代)
- ・若々しい、伸びる感じ。(男性 50代)
- ・力強いイメージ、大都市、観光都市としても魅力的。(男性 20代)
- ・最近、きれいになった。近代的、都会的になった。(男性 50代)
- ・都会的。食べ物が好き。雰囲気が好き。(女性 20代)
- ・駅前に大きなビルができ、大都会になった。公共交通の利便性がよく、移動しやすい。グルメもいろいろあって楽しいです。(女性 50代)
- ・未来都市の雰囲気でした。(女性 10代)
- ・駅周辺が30年前とはかなり発展しました。(女性 50代)
- ・駅前は高層ビルが多く、都会的な雰囲気がある。でも少し離れると自然もあり、バランスが良いのではないかと思います。(男性 20代)
- ・いいところ。のんびりしている。(女性 60代)
- ・良いところ。落ち着いている。(男性 30代)
- ・ゆったりした町。(女性 50代)
- ・静かで落ち着いた感じの街に感じました。(男性 30代)
- ・ゆっくりできて、旅館も静かだったし、街もきれいでよかったです。(女性 20代)
- ・道路が広く、街並みも整然としてきれいで、樹木も多く、ゆっくりした気分になれてよいと思う。印象の良い観光都市である。(女性 50代)
- ・思っていたよりザワザワしていないというか、落ち着いている。人当たりがソフトで良い印象です。気候も寒すぎずちょうどよい。もっと名古屋名物が食べたかったのも、インターネットなどでももっと調べやすくしてほしい。(女性 20代)
- ・適度に田舎で、適度に都会。(女性 40代)
- ・少し行くと海や山のあるのんびりとした町があり、都会すぎず、田舎すぎず落ち着ける町です。買い物も便利です。いろいろな物を購入して帰ります。(女性 50代)
- ・とても整備されていてきれい。一方で人が多すぎない。(男性 20代)
- ・名古屋は交通の便が良く、都会でありながら桜がきれいだったり（数年前に来た時に印象ですが）で、とても居心地が良いです。たまたまかもしれませんが、乗ったタクシーの運転手さんすべて感じが良く、ますます名古屋の印象UPでした。今回、初の子ども連れだったのですが、地下鉄はベビーカーでは難しそう。住むにも観光にも楽しそうです。(女性 30代)
- ・清潔で好印象です。路上禁煙など拡大していけばいいと思います。(女性 30代)
- ・とても上品な街。観光名所も多い。(男性 20代)
- ・街の雰囲気や人の印象がとても好感を持てます。素敵な街だと思っています。(女性 30代)
- ・仕事で来ました。とても楽しい街でした。(女性 30代)
- ・広い、きれい。全体に豊かさを感じる、特に駅周辺など。(女性 60代)
- ・思った以上に街並みが整備されている。(男性 40代)
- ・すべて適度に揃っていて、過ごしやすい街ではないでしょうか。(男性 30代)

- ・よく整っていて素晴らしい街だと思います。東京に次いでビジネスが盛んな商用都市です。(男性 50 代)

【店舗、商店街】

- ・交通機関がしっかりしている。ショッピングが楽しめる。(男性 40 代)
- ・町がきれいだと思う。活気がある。昔と比べショッピング、食事が若者の店が増えてよかった。(女性 50 代)
- ・30 年ぶりに来たのですが、様変わりにびっくり。外資系のショップが多いのに驚きました。街にゴミがなく、とてもきれいでした。無機質な感じがしました。(女性 30 代)
- ・道路などが整備されており、利便性がよい。いろいろな物が名古屋でショッピングすることができる。(男性 20 代)
- ・名古屋の食(味噌カツ、手羽先など)が大好きで一年に 1~2 度、必ず訪れます。栄でのショッピングも大好きです。一つ不満な点は名古屋は駐車場代が高いです。(女性 40 代)
- ・好きなショップが名古屋にはあるのでショッピングは楽しい。公共交通はとても便利だが、車では不便な点が多い。(女性 20 代)
- ・何でもそろっている。新しい感じ。名古屋でしか買えない物がある。(男性 30 代)
- ・交通は便利だと思う。他の街と比べて買い物(服など)がしやすいと思う。都市としては成熟していると思います。名古屋は何でもあるが、名古屋ならではのものが無いことに偏りがある。(女性 20 代)

【名古屋グルメ】

- ・名古屋グルメが楽しみ。(男性 40 代)
- ・おいしいご飯屋さんが多いから好き。(女性 20 代)
- ・今回はグルメツアーで来ています。新しいメニューをどんどん出してほしいと思います。(女性 30 代)
- ・独自のグルメ文化を持つ名古屋ですが、まだまだ未体験の味が多く、訪問のたびにひとつひとつ味わっていくのが楽しみです。(女性 30 代)
- ・昔に比べてすごくきれいになりました。名古屋グルメの知名度が上がってうれしい。(女性 50 代)
- ・名古屋の名物の食べ物がたくさんあって、どれもおいしそうでした。今回、観光はあまりできなかったもので、次に名古屋に来る機会があれば、ゆっくり観光したいと思います。(女性 20 代)
- ・物価は少し高いが、食べ物はおいしい。(女性 20 代)
- ・名古屋の食事は味付けが濃くて非常においしいです。(男性 30 代)
- ・ホテルのご好意により、おいしいお店を紹介いただき、味噌味の料理が堪能でき、元気ある街を満喫できました。(男性 40 代)
- ・名古屋グルメは最高です。ホテルの方に聞いて食べに行ったらお店はみんなおいしくて、絶対また食べられなかった名古屋グルメを行こうと思いました。(女性 30 代)
- ・名古屋グルメに勢いを感じています。味噌カツ、ひつまぶし、モーニングなど。食文化の特色を活かして、アピールできたらもっと観光客を呼ぶことができると思います。(女性 30 代)
- ・昼食のきしめん、夕食のひつまぶし、おやつの生ドラ、名古屋名物は我々にたいへん好評でした。(女性 60 代)
- ・名古屋の味噌煮込みうどん、ひつまぶしが大好きです。おみやげを買って帰ろうと思います。(女性 20 代)
- ・きしめん、ひつまぶしなど名古屋独特の食を堪能できた、良い旅行となりました。(女性 60 代)

- ・味噌カツを食べました、おいしかったです。明日はきしめんを食べ、バームクーヘンを並んで買いたいと思っています。今度は観光で来てみたいです。(女性 40代)
- ・建物がわりときれいで、見る所も多く楽しい。食べ物もおいしかった、特に手羽先。(女性 20代)
- ・手羽先が出張時の楽しみです。(男性 30代)
- ・あんかけスパがおいしかったです。(男性 30代)
- ・エビフライ。(女性 20代)

【名古屋人、気質】

- ・優しい人が多い。(男性 20代)
- ・感じが良い、親切。(女性 60代)
- ・良心的。(男性 60代)
- ・名古屋の方は地方からの人に親切に道案内してくださった。(女性 60代)
- ・学生から大人まで、どなたにお聞きしてもとても親切に教えていただいた。好感が持てました。(女性 50代)
- ・人情に厚い。(女性 50代)
- ・一番に感じたのは、親切な方が多いと思いました。どこでどなたに質問しても丁寧に感じよく答えてくださり、うれしかったです。名古屋グルメも何を食べてもハズレなしでした。お店の方もみんな感じがよかったです。またぜひ訪れてみたいと思います。(女性 30代)
- ・お店の店員が気さくな人が多い。地下鉄が便利、一日乗車券がよい。過ごしやすい街だと思う。味が濃いものが多い。(女性 20代)
- ・きれいな街。名古屋駅の観光案内へ行ったら、対応がとても良く、わかりやすく助かった。(男性 50代)
- ・広々として街がきれい。メーグルバスの運転手さん、ボランティアのイメージがよかった。(女性 50代)
- ・道路が広い。バスの運転手が丁寧に親切。(女性 60代)
- ・道がわかりやすい。親切、特に駅員さんが笑顔。(女性 50代)
- ・タクシーに乗って運転手が客に名前を言って挨拶するのには驚いた。札幌や東京にもないサービス。名古屋はいいと思いました。ホテルスタッフのサービスもいつもながらありがたいです。(男性 50代)
- ・タクシーを利用することが多かったのですが、非常に印象が良かったです。自己紹介していろいろ案内説明（こんなところがある、こういうこと等の質問に対する答え）が旅行の良い思い出につながります。(女性 60代)
- ・名古屋を初めて訪れたのは、この数年内です。目的地は明治村でした。とてもおもしろく、都合3回。しかし、それ以上に印象深かったのは、人の歩き方がゆっくりで朝のラッシュでも足を蹴られたり、ぶつかったりすることがなく、皆、血走ったような顔で歩いていなかったことです。親切ではあるけど情に深いとは思えない対応の仕方、旅行者にとってもとても心地よい土地柄です。時代と共に変化するとは思いますが、今の状態でしたら、今しばらくお邪魔しようかと思っています。何はともあれ観光（旅）の目的はその土地の人気（じんき）が第一です。(女性 60代)
- ・道路も広く都会的です。タクシーの運転手さんがとても親切です。デパートの中やエスカレーター等、人のナマが良ように思います。食事はおいしいのですが、味付けが少し濃いです。印象としては良いと思います。(女性 60代)

【道路・道路交通】

- ・道路が広く、ゴミが落ちていない。街がきれい。(女性 50代)
- ・道路が整備されていて、観光地がわかりやすい。(女性 40代)
- ・名古屋は道路が広い。車の通行量が多くてびっくりでした。(男性 20代)
- ・高速道路がよかった。(男性 60代)
- ・高速が便利。(男性 50代)
- ・道路は整理されているので運転していて方向がわかりやすいのでよい。(男性 60代)
- ・市内は標識がわかりやすく、車で走りやすい。(男性 70歳以上)
- ・道が広くて運転しやすい。(男性 30代)
- ・とても街がきれいで、驚きました。道路も広くて車の流れがスムーズです。(女性 20代)
- ・タクシーが安くて手軽でよい。(女性 40代)
- ・広い道路が多く、開放的。名駅桜通口地下街の標識がわかりづらい。市内タクシーの数が充分で利用者にとっては便利。(男性 60代)
- ・日曜の官庁街の駐車場開放がよい。(女性 40代)
- ・街路表示に地図が入っていて、道に迷いにくいです。近くまで来ても目的地にたどり着けずに困ることがありません。素晴らしいと思います。(女性 30代)
- ・路上禁煙区域があつてよいと思う。もっと増やしてもいいのではないのでしょうか。(女性 20代)
- ・名駅周辺がタバコ禁止になって、きれいでよくなった。(女性 30代)
- ・道路がとても広く、歩道も広いのでとても安全でした。(女性 10代)
- ・自転車置き場を作っている。歩きやすくなるが、置くスペースが離れた所になったりして、わかりづらかったりする。(女性 40代)
- ・歩道が広いだけでなく舗装も整っていて、目立ったゴミもあまりなく、歩きやすいという印象です。歩道上に駐輪場を設けているところ（伏見付近）を見かけました。歩行者にとっても自転車利用者にとっても快適な歩道空間となっていると思います。名古屋市科学館は何度も訪れたいくなるような魅力的な展示でした。(女性 30代)
- ・街路表示に地図が入っていて、道に迷いにくいです。近くまで来ても目的地にたどり着けずに困ることがありません。素晴らしいと思います。(女性 30代)

【公共交通】

- ・公共交通機関がとても充実していてよいです。(女性 20代)
- ・公共交通の便はいい。案内表示もよくわかる。(女性 50代)
- ・すべて交通の便が良く、高齢になってもまだ何度も来たいと思っています。(女性 70歳以上)
- ・公共交通機関とくに私鉄が便利。(男性 60代)
- ・JRでの乗換えがスムーズになったと思いました。また買い物で遊びに行きます。(女性 30代)
- ・JR名古屋駅中心にどちらへでも電車で移動できるのでとても便利になりました。ひつまぶしを有名な所に食べに行こうと思っています。大須観音、熱田神宮へ行きます。(女性 60代)
- ・高い建物が多く、明るくにぎやか。JR、名鉄、近鉄、地下鉄があり、交通の便がよい。名物の食べ物、名所が多い。(女性 30代)
- ・駅など案内表示がしっかりできているので安心しました。(女性 60代)
- ・地下鉄も色分けされていてわかりやすい。セントレアから市内も30分足らずで快適な車内でよかった。(女性 40代)

- ・市内は地下鉄やバスが便利で、宣伝もされたお得な一日券があったりしてよいと思います。(男性 30 代)
- ・グルメは名物がたくさんあっておもしろいと思います。地下鉄は環状線ができてからは便利。歩道が広いのもよい。(女性 20 代)
- ・思っていたより地下鉄が使いやすい。行こうと思ったところにすんなり行ける。(男性 20 代)
- ・地下鉄車内で、中国語、韓国語、ポルトガル語(?)の放送があったのには驚きました。(女性 50 代)
- ・初めて地下鉄を利用しますが、案内表示がよく、わかりやすいと思いました。(女性 60 代)
- ・バスがいろいろな所に行っているので便利。緑が多い。(女性 30 代)
- ・一日乗車券、ドニチエコきっぷがよい。(女性 60 代)
- ・初めて訪れた者にとってメーグルはとても助かる。(女性 20 代)
- ・観光ルートバスメーグルに乗ったのですが、観光地をコンパクトに回れてとても便利でした。自由に乗り降りでき、また停留所にはガイドの方もいてスムーズに観光ができました。いいシステムだと思います。楽しい旅になりました。(女性 30 代)

【その他】

- ・治安はいい。街並みもきれい。(男性 70 歳以上)
- ・海外から日本に出張で来ているため、夜遅くまで子どもや女性が歩いている光景はいささか異様に思えます。名古屋駅はとても立派になり便利だと思います。(男性 40 代)
- ・老舗ホテルでゆっくりし、おいしい食事を楽しみ、きれいなイルミネーションを見に名古屋に出てきます。二ヶ月に一度ぐらいの楽しみです。(女性 50 代)
- ・食べ物がうまい。温泉も良かった。(男性 20 代)
- ・名古屋市内の町並もきれいでした。観光案内もいたるところにあって便利でした。(女性 30 代)
- ・大きい道路が直角に交わっている。生の名古屋弁を聞きたい。(女性 20 代)
- ・街の名前がおもしろかった。(男性 60 代)
- ・にぎやか。ゴミの分別がしっかりしている。(男性 30 代)
- ・東海北陸自動車道の全線開通でより近く身近に名古屋を感じることができる。遊びに来る回数も多くなると思う。(男性 60 代)
- ・住みやすい。水がおいしい。交通が便利。夏が暑い。(女性 60 代)
- ・土産はいろいろと種類があるので、とても楽しみです。(女性 40 代)

不満な点、要望

【公共交通】

- ・もう少し交通網の充足を。(男性 20 代)
- ・地下鉄の初乗り運賃が高い。(男性 20 代)
- ・地下鉄の表示がわかりにくくなったと思う。環状線(右回り、左回り)でお年寄りに「これ〇〇へ行きますか」とよく聞かれる。(女性 60 代)
- ・昼間の地下鉄の時間間隔が長い(本数が少ない)という印象を持ちました。(男性 40 代)
- ・食べ物はおいしいが、観光名所で「これだ」という所が思いつかない。また地下鉄などの最終電車が早い気がする。もう少し遅くまで走っていてもいい。(男性 20 代)

- ・旅行者に便利なバスのルートが少ないように思います。地下鉄があるのでしかたがないのかもしれませんが、旅行者はバスでのんびり街並みを見たいと思うので、もっと観光地巡りをしやすく、いろいろな経路の観光ルートバスを作してほしいです。(女性 30代)
- ・バス（メーグル）の本数をもう少し増やしてほしい。混みすぎている。(女性 20代)
- ・バスの路線がまだよくわかりません。わかりやすいマップ等があればいいと思います。(女性 20代)
- ・利便性は良い。あおなみ線でもエコ切符が使えるとよい。(女性 20代)

【道路、道路交通】

- ・名古屋高速の渋滞がひどく、いつもヒヤヒヤします。(男性 40代)
- ・名古屋高速が高すぎ。(女性 40代)
- ・案内を見やすく、信号のつながりと右折左折のレーンを確立してほしい。あいまいに感じる。(男性 40代)
- ・道路標識がわかりにくい。運転しにくい道路（車線の案内、路上駐車など）。(男性 50代)
- ・路上駐車や停車が多い。また街中は道幅が狭く、運転しにくい。(女性 30代)
- ・交通事故が多い町。(男性 20代)
- ・大型駐車場を増やしてほしい。(男性 50代)
- ・市内の駐車料金が高い。(女性 20代)
- ・車線が多くてどこで曲がっていいのか迷った。駐車場が各施設に少ないため、有料駐車場に停めなくてはいけなかったため不便だった。(女性 20代)
- ・歩道で歩行者と自転車が安全に通れるよう、区別されているとよいと思う。(女性 30代)
- ・自転車の駐輪が道一本裏へ入ると多くなるので迷惑している。(男性 70歳以上)
- ・人が多いわりに歩道が狭い。(女性 40代)
- ・自転車道が少ない。(男性 30代)

【案内、表示】

- ・観光の案内がわかりにくかった。駅のお店の場所がわかりにくかった。(女性 20代)
- ・名古屋駅内の表示はわかりにくいです。整理したほうがいいです。コインロッカーが少ないです。(男性 30代)
- ・人がとても多いと思いました。地下街がわかりにくい。表示がもっとあるとよいと思う。(女性 10代)
- ・もう少し外国人にもわかる表示を、他より少ない。(男性 60代)
- ・案内表示版に現在地の表示がなく、どこに行けばいいのかわからなかった。(女性 50代)
- ・案内板の字を大きくしてほしい。(女性 70歳以上)

【宣伝、告知】

- ・PR不足。名古屋自体がこういう街と言うのはもっとPRしたほうがいい。外国の人は通り過ぎる街。案内する場所がない、目玉がなく残念。(女性 60代)
- ・栄などは良いが、名所を広く宣伝して観光都市をPRしてほしい。元気がない。(男性 70歳以上)
- ・案内のパンフレットも新しいところばかりでなく、古い歴史を感じさせるような場所の案内を載せてほしい。名古屋も城下町で古くてもよいところたくさんあると思うから、もったいない。(女性 60代)
- ・パンフレットが駅に置いてあるとよい。金山、鶴舞にもあるとよい。広報がコンビニにあるとよい。小冊子が置いてあるとよい。(男性 40代)

- ・観光案内所へ行きましたが、グルメ情報（おすすめお土産）などがあるとありがたく思います。交通の便はどこへ行くにも便利でうれしい。（女性 20代）
- ・シティホテルには観光施設やグルメ等の雑誌や紹介パンフレットを置いたほうがよい。町全体でアピールすべき。（男性 50代）
- ・観光に行くところがよくわからない。ホームページで探しても、目玉が何なのかよくわからない。ホームページが旅心をそそるような作り方ではない。もっと考えた方がいい。JRのように、もっと考えたほうがよい。（女性 30代）

【観光資源】

- ・買い物、食事には便利だが、観光施設は少ないような気がする。（女性 20代）
- ・ディズニーランドのようなテーマパークがあるといい。（女性 10代）
- ・他地方から来た人に案内する観光施設がない。もっと名古屋らしいものをつくってほしい。（男性 30代）
- ・人の集まる所を栄や名古屋駅以外にもっと作ってほしい。（男性 70歳以上）
- ・入場料、駐車料金はもう少し安くなるとよい。（女性 40代）
- ・街並みはきれい。観光施設は早く終わるのでメーグルもあまり使えなかった。名古屋グルメはとてもおいしいので、これからも名古屋に訪れていろいろ味わいたい。（女性 50代）
- ・商店街の活気があることに驚きました。小さな何気ない店においしい食があることも楽しめました。名古屋城にも参りましたが、高齢者は県民だけ割引というのはいかがなものでしょうか。他府県を参考に日本国民または世界からのお客様も大切にされたらよろしいと思います。料金の問題もありますが、それ以上に差別を感じました。（女性 60代）
- ・全国にアピールするイベントをどんどんやるといい。名古屋城本丸を早く完成してほしい。（男性 70歳以上）
- ・夜間の城の景色が見たいので、城の周りぐらいまでは入場できたらよいのでは。（男性 50代）
- ・観光地が減った。イタリア村がなくなって残念。（女性 30代）

【名古屋まつり】

- ・毎年楽しみにしている。最近ちょっとマンネリになっているような気がする。（男性 60代）
- ・三英傑行列が元気がなかった。（女性 60代）
- ・パレードの間隔があきすぎ、栄の中心、清掃車が来るからと止められた。地下鉄のシャッターがしまっていた。（女性 30代）
- ・名古屋まつりの吹奏楽団がなくなって残念、音楽が少なくなった。（女性 70歳以上）
- ・子どもが少なく淋しい。お祭りも人出が少ない。（女性 30代）
- ・昔より華やかさがない。（女性 60代）
- ・名古屋まつりはみんな見ているだけだから、もっと市民参加型になるといい。（女性 40代）
- ・名古屋まつりのパンフレットの配布方法を考えてほしい。どこでもらえるかわかりにくい。もっと宣伝してほしい。（男性 50代）

【まちづくり、町並み】

- ・公共交通の利便性はよい。街の美観がよくない。もう少し町並をきれいにしてほしい。（男性 20代）
- ・もう少し土地の整備をしてほしい。古い建物が多い。電線が多いので考えてほしい。治安は西方面が悪いように思う。（女性 30代）

- ・大きな緑の公園が少ない。(男性 60 代)
- ・市内の町並みが暗い印象がある。駅前とのギャップが大きい。(女性 30 代)
- ・熱田神宮の周りの街並みが寂しく、もう少し活気がある街並みを望みます。(男性 40 代)

【店舗、商店】

- ・若い子向けのお店がもっとほしい。値段も高くないところがいい。(女性 20 代)
- ・街はきれいである。夜のデパート、店などの閉店が早い。9～10 時頃まで開いてほしい。(男性 50 代)
- ・食べ物のお店が早い時間に閉まる。(女性 20 代)
- ・広告などや店のデザインがいまいち。(女性 50 代)
- ・建物が多い、大きい。東京の表参道、原宿などのスポットのように、買い物できる場所が少ない。バスが多くてよい。(女性 20 代)

【人、マナー】

- ・ドライバーの運転マナーが悪い。(男性 30 代)
- ・禁煙エリアがあるようですが、道行く人は普通にタバコを吸いながら歩いている人を何度も見かけて不快でした。(女性 30 代)
- ・電車（地下鉄）の車内のマナーが悪い人が目立つ。携帯電話の使用や、若い女性が化粧をしていたので驚いた。(女性 60 代)
- ・錦 3 丁目のゴミの多さが気になります。栄地下街のマナーの悪さ。名駅周辺の活気を求めます。もっと頑張ってもらいたいです。(女性 30 代)
- ・街並み、景観が非常に良いが、落書きが多く残念。(男性 20 代)
- ・朝、金山駅の身障者用トイレを使用したが、とても汚れていました。掃除をされている方は熱心に行っていると思いますが、使用する人たちのモラルを向上していかなければならないだろうと思いました。(男性 50 代)
- ・障害者に対して、市内の人が地下鉄などで少し冷たい気がする。入場料金については助かる。(男性 20 代)

【その他】

- ・地下鉄などのアクセスにエレベーター、エスカレーター等が非常に少ないように感じます。(男性 40 代)
- ・利便性などは問題ないが、文化の香りが無い。仕事のみの印象。(男性 50 代)
- ・夜なのに明るい、目が時々痛い。でもきれいだと思う。ティッシュを配っている人が時々怖いです。(男性 20 代)
- ・栄の辺りは女性が歩くには怖い気がします。(女性 30 代)
- ・駅のトイレに紙がなかった。ホルダーもない。(女性 20 代)
- ・タバコを吸える場所をつくってほしい。(男性 30 代)

お楽しみのところ恐れ入りますが、アンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

問1 どこからお越しになりましたか（出発地はどちらですか）。1つに○印をつけてください。

1 名古屋市内	2 名古屋市を除く愛知県	3 岐阜県	4 三重県
5 静岡県	6 その他の都道府県（具体的に）		

問2 今回、名古屋を訪れた（今回の名古屋への旅行）主な目的は何ですか。1つに○印をつけてください。

1 観光施設の見学	2 ショッピング（非日常の買物。ウインドショッピングを含む）
3 観劇・コンサート	4 イベント（参加・鑑賞）
5 飲食	6 その他の娯楽行為（具体的に）
7 商用・公用	8 帰省・冠婚葬祭
9 大会・学会・国際会議への出席・参加	10 その他（具体的に）

問3 問2で「1」から「6」を選んだ方にお伺いします。観光・娯楽の目的地として、名古屋を選んだきっかけは何ですか。該当するものすべてに○印をつけてください。

1 雑誌・新聞をみて	2 旅行代理店の紹介や店頭チラシをみて
3 テレビやラジオ番組の情報から	4 インターネットホームページの情報から
5 友人・知人に薦められたから	6 前に来たことがあり良かったから
7 駅や電車内のポスター・広告	8 特になし
9 その他（	

問4 今回の訪問（今日のお出かけ）で、訪れたところ、またはこれから訪れる施設に○印をつけてください。

1 名古屋城	2 産業技術記念館（トヨタテクノミュージアム）
3 ノリタケの森	4 徳川美術館
5 徳川園	6 熱田神宮
7 白鳥庭園	8 東山動植物園
9 東山スカイタワー	10 テレビ塔
11 名古屋美術館	12 愛知県美術館
13 名古屋ボストン美術館	14 名古屋科学館
15 でんきの科学館	16 名古屋博物館
17 ランの館	18 名古屋港水族館
19 名古屋港	20 シートレインランド
21 有松・鳴海絞会館	22 その他（

問5 今回の名古屋訪問（名古屋への旅行）はパッケージ旅行ですか。どちらかに○印をつけてください。

1 パッケージ旅行	2 パッケージ旅行ではない
-----------	---------------

問6 今回の名古屋訪問（今回の名古屋への旅行）における1人あたりのご予算をお教えください。

①1人あたりのご旅行の予算（パッケージ旅行の方はパッケージ料金を含みます）。1つに○印をつけてください。

1 5,000 円未満	2 5,000～10,000 円未満	3 10,000～30,000 円未満
4 30,000～50,000 円未満	5 50,000 円以上	

②現金、カードの使用を含めて、名古屋市内で使うお金（パッケージ旅行の方はパッケージ料金を除きます。）は、1人あたりいくらほどになりますか

およそ（	）円くらい
------	-------

③市内での交通費（都市高速道路通行料や駐車場代金を含みます）。1つに○印をつけてください。

1 交通費はかからない	2 1,000 円未満	3 1,000～3,000 円未満
4 3,000～5,000 円未満	5 5,000 円以上	6 パック旅行のため不明

④市内でのおみやげ代。1つに○印をつけてください。

1 購入予定なし	2 2,000 円未満	3 2,000～5,000 円未満
4 5,000～10,000 円未満	5 10,000 円以上	

⑤市内での食事代（パッケージ旅行の方はパッケージ料金に含まれていない食事代の合計額）。1つに○印をつけてください。

1 お弁当持参で飲み物類を購入する程度	2 2,000 円未満
3 2,000～5,000 円未満	4 5,000～10,000 円未満
5 10,000～30,000 円未満	6 30,000 円以上

⑥市内での宿泊代（市内の宿泊施設に宿泊される方は1泊の概ねの平均額）。1つに○印をつけてください。

1 5,000 円未満	2 5,000～15,000 円未満	3 15,000～30,000 円未満
4 30,000 円以上	5 パック旅行のため不明	
6 友人、知人の家に宿泊するので、費用はかからない		
7 名古屋市内には宿泊しない		

問7から問11については、名古屋市外からお越しの方のみお答えください。

問7 名古屋市内に訪れたのは、今回で何回目ですか。該当するもの1つに○印をつけてください。

- | | | | | | | | | | |
|---|------|---|-----|---|-----|---|-------|---|--------|
| 1 | はじめて | 2 | 2回目 | 3 | 3回目 | 4 | 4～9回目 | 5 | 10回目以上 |
|---|------|---|-----|---|-----|---|-------|---|--------|

問8 今回の訪問（旅行）において、名古屋までの主な交通手段に○印をつけてください。

- | | | | | | |
|---|------|---|------|---|------|
| 1 | J R | 2 | 名鉄電車 | 3 | 近鉄電車 |
| 4 | 自家用車 | 5 | 航空機 | 6 | 路線バス |
| 7 | 観光バス | 8 | その他（ | | ） |

問9 今回の訪問（旅行）で、訪れる予定、もしくは既に訪れたところ（地域）すべてに○印をつけてください。

- | | | | | | |
|----|---------------|----|---------------|----|------------|
| 1 | 名古屋市内のみ | 2 | 長久手・モリコロパーク方面 | 3 | 明治村・犬山方面 |
| 4 | 瀬戸・小原方面 | 5 | 知多・常滑・セトア方面 | 6 | 豊田・岡崎・足助方面 |
| 7 | 蒲郡・西浦・三谷方面 | 8 | 豊川・鳳来寺方面 | 9 | 豊橋・伊良湖方面 |
| 10 | 岐阜・関ヶ原方面 | 11 | 多治見・恵那・中津川方面 | 12 | 下呂・高山方面 |
| 13 | 長島温泉・湯の山・鈴鹿方面 | 14 | 伊勢・志摩方面 | | |
| 15 | その他（ | | | | ） |

問10 今回の訪問（旅行）は何日間の予定ですか。該当するもの1つに○印をつけてください。

- | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|------|
| 1 | 日帰り | 2 | 2日間 | 3 | 3日間 | 4 | 4日間 | 5 | 5日以上 |
|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|------|

問11 問10で回答が2日間以上のご旅行の方に伺います。
名古屋市内に宿泊される日数（予定も含む）をお答えください。該当するもの1つに○印をつけてください。

- | | | | | | | | |
|---|--------------|---|----|---|----|---|------|
| 1 | 1泊 | 2 | 2泊 | 3 | 3泊 | 4 | 4泊以上 |
| 5 | 名古屋市内には宿泊しない | | | | | | |

あなたご自身（回答者）についてご質問します。

問12 あなたの性別・年齢をお教えください。（○は一つずつ）

- | | | | |
|-----|----------|----------|----------|
| ①性別 | ②年齢 | | |
| 1 男 | 1 10～19歳 | 2 20～29歳 | 3 30～39歳 |
| 2 女 | 4 40～49歳 | 5 50～59歳 | 6 60～69歳 |
| | 7 70歳以上 | | |

問13 本日の名古屋訪問（名古屋への旅行）で同行されている方をお教えください。（○は一つだけ）

- | | | | |
|---|---------------|---|-------|
| 1 | ひとり（同行者なし） | 2 | 友人・知人 |
| 3 | 幼児や小学生連れの家族 | 4 | 夫婦 |
| 5 | 家族（「3」・「4」以外） | 6 | 団体旅行 |
| 7 | 修学旅行 | 8 | その他（ |

【自由意見】 名古屋のまちの印象をお聞かせください。

町並み、にぎわい、公共交通の利便性、道路や施設の案内表示、街の美観や治安、観光施設、名古屋グルメなど、何でも結構です。

質問は以上で終了です。お忙しいところ、調査に協力していただき、誠にありがとうございました。
この調査結果は、統計的に処理し、有用な資料として活用させていただきます。

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（宿泊施設）[対象年次：平成20年度]

○貴施設の名称、所在地、電話番号について変更などあるかご確認ください。また、差し支えなければ、この調査票の記入者の氏名等をご記入ください。

貴施設の名称	
〒	名古屋市
電話番号	
ご記入者 (ご所属) (ご氏名)	

問1 貴施設のタイプについて、次のいずれか1つに○印をお付けください。

1	ホテル	2	旅館	3	簡易宿所	4	下宿
---	-----	---	----	---	------	---	----

問2 貴施設の平成21年3月末時点の室数および収容可能人数をご確認ください。変更などがあれば、修正をお願いします。

和室		洋室		合計	
室数	収容人数	室数	収容人数	室数	収容人数
室	人	室	人	室	人

問3 貴施設の平成20年4月から平成21年3月までの宿泊客数（月別・合計）をご記入ください。
※月別で把握できない場合や正確な記録がない場合でも、ご記入頂ける範囲でご回答ください。

	20年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
①実人数	人	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人	人
②延人数	人	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人	人

	20年11月	12月	21年1月	2月	3月	合計	
①実人数	人	人	人	人	人		人
うち外国人	人	人	人	人	人		人
②延人数	人	人	人	人	人		人
うち外国人	人	人	人	人	人		人

注：連泊客の数え方

- ①実人数は、連泊客が2泊以上宿泊しても「1人」と数えてください。
- ②延人数は、連泊客が同一の方であれば1泊で「1人」、2泊で「2人」と数えてください。

問4 貴施設では、外国からの宿泊客が、年間でどの国（地域）から何人ありますか。なお、宿泊客数は実人数でご記入下さい。（概数でも結構です）

国名	宿泊客数	国名	宿泊客数	国名	宿泊客数
中国	人	米国	人		人
香港	人	英国	人		人
台湾	人	ドイツ	人		人
韓国	人	フランス	人		人
タイ	人	オーストラリア	人		人
シンガポール	人	カナダ	人		人

問5 貴施設では、これまでに修学旅行団体（小・中・高校など）を受入れたことがありますか。また今後受入れることはできますか。次のいずれか1つに○印をお付けください。

1 平成20年度、受入れた。

2 平成20年度受入れなかったが、これまでに受入れたことはある。

3 実績はないが受入れ可能。

4 受入れられない。

問6 問5で「1 平成20年度、受入れた。」と回答した施設にお聞きます。貴施設が平成20年4月1日から平成21年3月末までに受入れた修学旅行団体の所在地（都道府県名）、学校数、宿泊客数を下記の例にしたがってご記入ください。

〈例〉「京都府の小学校が2校で400人、中学校が1校100人」の場合

都道府県名	小学校	中学校	高等学校	その他
京都府	2校 400人	1校 100人	校 人	校 人
都道府県名	小学校	中学校	高等学校	その他
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人

問7 問5で「1」以外を回答した施設にお聞きます。貴施設が平成20年度に修学旅行団体を受入れたなかった理由についてご記入ください。

[]

ご多忙中、ご協力いただきましてありがとうございます。



名古屋市観光客・宿泊客動向調査
(平成20年度)

平成21年 10月発行

発行 名古屋市市民経済局
業務委託先 株式会社 綜研名古屋
電話 (052) 733-3302